TOSHIBA

東芝ネットワークカメラ

形名 IK-WB12

取扱説明書

＊レンズは別売オプションです。

ホームページに最新の商品や周辺機器情報などを掲載しておりますので、ご参照ください。
■ http://www.toshiba.co.jp/g_camera/

上記アドレスは予告なく変更される場合があります。
このような場合はお手数ですが、東芝総合ホームページ（http://www.toshiba.co.jp/）をご参照ください。
本取扱説明書は、ファームウェアバージョン Version 1.00.D.100 以降に適用されます。

はじめに

このたびは東芝ネットワークカメラ IK-WB12 をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めの製品を正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。お読みになったあとはいつでも取り出せるように保管してください。
意匠、仕様、ソフトウェアおよび取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
本書に記載されている写真、イラストなどは実際とは多少異なる場合があります。

用語と商標について

- OS... 特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステムを示します。
  - Windows 2000...Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版を示します。
  - Windows XP...Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版を示します。
- Microsoft®、Windows®は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- 本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が登録商標または商標として使用している場合があります。
- 本書では「パーソナルコンピューター」を「パソコン」と表記します。

付属品一覧

本機には以下の付属品があります。

取扱説明書 .... 1 冊（保証書付き）

もくじ

はじめに

見る・聞く・操作する

記録する

設定する

その他

安全上のご注意

● ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
● ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
● 表示と意味は次のようになっています。

■表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図　記　号	図　記　号　の　意　味
⃠ 禁　止	“⃠”は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	“●”は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

異臭・発煙・過熱などの異常が発生したときは、すぐに電源供給を停止すること（PoE対応のLANケーブルやDC12Vに接続した機器の電源プラグをコンセントから抜くこと）

プラグを抜け

そのまま使用すると火災・感電・やけどの原因となります。煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

異物や水などがカメラの内部にはいったときは、すぐに電源供給を停止すること（PoE対応のLANケーブルやDC12Vに接続した機器の電源プラグをコンセントから抜くこと）

プラグを抜け

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご連絡ください。

カメラを落としたり、ケースを破損したときは、すぐに電源供給を停止すること（PoE対応のＬＡＮケーブルやDC12Vに接続した機器の電源プラグをコンセントから抜くこと）

プラグを抜け

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店にご連絡ください。

ぐらついた台の上、かたむいたところなど不安定な場所に置かないこと

禁　止

落ちたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。

上に物を置かないこと

禁　止

- 金属類や､花びん･コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
- 重いものが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

分解・改造・修理しないこと

分解禁止

火災・感電の原因となります。修理、内部の点検はお買い上げの販売店にご依頼ください。

風呂場・シャワー室で使用しないこと

風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

水がかかる場所で使用しないこと

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

金属類や燃えやすいものなど異物を内部に入れないこと

禁　止

火災・感電の原因となります。端子、その他の穴や隙間に、異物を入れたり落とし込んだりしないでください。

警告

雷が鳴りだしたら機器や配線に触れないこと

感電の原因となります。

接触禁止

包装に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように、注意すること

かぶったり口に入れたりして窒息するおそれがあります。

指　示

指定された電源を使用すること

指定された電源以外では、火災・感電の原因となります。

指　示

注意

移動させるときはコードやケーブルをはずすこと

コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

指　示

落としたり、強い衝撃を与えないこと

火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

温度の高い場所に置かないこと

直射日光の当たる場所・ストーブのそばなどに置くと、発熱・火災の原因となることがあります。

禁　止

湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、発熱・火災の原因となることがあります。

禁　止

布やふとんの上に置いたり、覆ったりしないこと

熱がこもってケースが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。

禁　止

設置の際は熱がこもりやすい狭い場所に押し込まないこと

熱がこもってケースが変形し、火災の原因となることがあります。

禁　止

⚠注意

自分で設置工事および配線工事をしないこと

設置に不備があると、火災・感電・事故の原因になることがあります。

● 設置・配線工事は販売店にご依頼ください。

禁　止

長時間使用しないときや、お手入れするときは、必ず電源供給を停止すること（PoE 対応の LAN ケーブルやDC12Vに接続した機器の電源プラグをコンセントから抜くこと）

漏電・感電の原因になることがあります。

プラグを抜け

振動の激しい場所には設置しないこと

落下によって、けがの原因になることがあります。

禁　止

本機を壁や天井に取り付けて使用するときは、堅固・確実に取り付けること

落下によって、けがの原因になることがあります。

指　示

ケーブルを引っぱったり、コネクター部に無理な力を加えないこと

損傷して感電の原因になることがあります。

禁　止

レンズで太陽を見ないこと
レンズを太陽光など強い光が当たる場所に置かないこと

光が焦点に集まり、目を痛めたり、火災の原因になることがあります。

禁　止

定期的に販売店に点検を依頼すること

点検時期、費用については販売店におたずねください。

指　示

使用上のお願い

免責事項について

- 火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用、または使用不能から生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等について、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作等から生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- お客様ご自身または権限のない第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品に関し、法律の定める範囲においていかなる場合も当社の費用負担は本製品の個品価格以内とします。
- 本製品を制御するためにご使用になった機器の記憶装置（SDメモリーカードなど）に記録された内容は、故障や障害の原因に関わらず保証いたしかねます。
- LANの使用による情報の盗聴や漏洩およびそれによる損害に関して当社は一切の責任を負いません。

著作権についてのご注意

お客様がネットワークカメラで記録した画像を権利者に無断で使用、開示、頒布または展示等を行うと著作権法等に抵触する場合があります。なお、実演や興行、展示物などの中には、監視などの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像やファイルの伝送は、著作権法で許容された範囲内でのご使用に限られますのでご注意ください。

用途制限について

- 本機は人の生命に直接関わる装置等（＊1）を含むシステムまたは人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム（＊2）に使用できるよう開発・製作されたものではないので、それらの用途に使用しないこと。

＊1：人の生命に直接関わる装置等とは、以下のものをいいます。

・生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器

・有毒ガスなど気体の排出装置および排煙装置

・消防法、建築基準法など各種法律を遵守して設置しなければならない装置など

＊2：人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、以下のようなものをいいます。

（原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統およびシステム）

（集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム）

使用上のお願い（つづき）

使用する場所について

- 本機をラジオ、テレビ、携帯電話などの近くでご使用になると、受信障害の原因となることがあります。その場合は、本機を離してご使用ください。
- 冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因になります。
- 本機は屋内用です。屋外には設置しないでください。

使用・設置について

- 映像雑音のはいらない場所に
  カメラやケーブルの配線に際し電灯線やテレビ受像機が近くにある場合、映像に雑音がはいることがあります。そのときは、位置や配線をかえてください。
- 使用周囲温度・湿度は
  仕様以上の暑い所や仕様以下の寒い所では画質の低下や内部の部品に悪い影響を与えます。このような場所でのご使用は、さけてください。また高温多湿な場所でのご使用には十分ご注意ください。40℃以下の温度条件でご使用することをおすすめします。高温で長時間連続使用すると部品の劣化によって寿命が短くなります。
- カメラを太陽に向けないで
  カメラを使用しているいないにかかわらず、レンズを太陽に向けないでください。
- 強い光を撮らないで
  画面の一部分にスポット光のような強い光があたるとブルーミング＊1、スミア＊2を生じることがありますのでさけてください。強い光がはいった場合、画面に縦縞が現れることがありますが故障ではありません。また、被写体の近くに強い光があった場合にゴーストが発生することがあります。このような場合は撮影の角度をかえてください。

  ＊１：ブルーミングとは、強い光の周辺がにじむ現象です。

  ＊２：スミアとは、強い光の上下に縦縞が発生する現象です。
- カメラの設置の向き（姿勢）は
  カメラを逆さまに取り付けないでください。
- モアレの発生
  細かい縞模様を撮ると実際にはない縞模様（モアレ）が干渉ジマとして現れることがありますが、故障ではありません。
- 保護キャップの扱いは
  保護キャップは、乳幼児が触れないようにしてください。口に含んだり、誤って飲み込んだりする危険があります。また、保護キャップはカメラヘッドからレンズをはずしたときに、撮像面の保護をしますので捨てずに保存してください。

取扱いに関すること

- 本機に強い衝撃を与えないでください。破損や記録済みの内容が破壊される原因となります。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- パソコンのモニター上に長時間同じ画像を表示させると、モニターに損傷を与えることがあります。スクリーンセーバーの使用をおすすめします。
- 本機に無理な力を加えないでください。破損や故障の原因になります。
- 本機に磁石など磁気をもっているものを近付けないでください。磁気の影響を受けて動作が不安定になります。

お手入れに関すること

本体のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。

- アルコール類、みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、ワックス、石油、熱湯は使わないでください。また、殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレーなどをかけないでください。（変色、変質のおそれがあります。）
- レンズに直接触れないでください。（指紋がつくと、焦点がぼける原因となります。）
- レンズの清掃は、レンズクリーニングペーパーなどで行ってください。

AC アダプターについて

- 本機種には、ACアダプターは付属していません。ACアダプターをお使いになる場合は、お客様のもとで、 10W以上供給可能なDC12V出力の EIAJ規格・極性統一形プラグ付きのACアダプターをご用意ください。

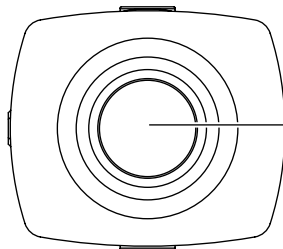
PoE 電源供給装置について

- LAN ケーブルから電源供給するためには、PoE 電源供給装置が必要です。

SD メモリーカードについて

- SDメモリーカードは書換え回数に限度がある部品です。本機の定期的なメンテナンスの際に交換することをおすすめします。
- 本機で対応しているSDメモリーカードは以下のとおりです。これ以外の仕様のものは使わないでください。(以下のすべてについて動作を保証するものではありません。)
  SD メモリーカード（3.3V）64MB/128MB/256MB/512MB/1GB 対応
  物理インターフェース：Part1.Physical Layer Specification;Version1.01
- 本機で対応していないSDメモリーカードを使用した場合、正しく画像が記録または読出しされない場合があります。
- お買い上げのSDメモリーカード付属の取扱説明書や明記された使用上の注意などをよくお読みください。
- 本機は、SDメモリーカードを使用して画像を循環記録することができます。この場合は、SDメモリーカードの容量が、書換え寿命に大きく影響します。
  循環記録する場合は、128MB/256MB/512MB/1GBなど容量の大きなSDメモリーカードをご使用ください。
- 本機の性能を満足するためには、『東芝製SDメモリーカード』をご使用ください。
  他社製のSDメモリーカードを使用した場合は、SDメモリーカードへの記録間隔が伸びたり、上書き時の消去時間が長くなる場合があります。この間ライブ映像の配信コマ数が少なくなる場合があります。
- 本機で使用するSDメモリーカードは、本機以外で記録したファイルがない状態でご使用ください。他のファイルがある場合は、正常に動作しない場合があります。
- 本機で使用したSDメモリーカードのファイルおよびフォルダ名をパソコンなどで変更したり、上書きなどはしないでください。この場合は、正常に動作しない場合があります。
- 本機で記録したファイルは、画像ファイルフォーマット「Exif」および互換ルール「DCF」には対応していません。本機から取りはずして再生する場合は、パソコンをご使用ください。他の機器では、画像表示できない場合があります。

各部のなまえとはたらき

●前面

撮像部
撮像素子が取り付けてあります。ゴミ、ほこり、指紋などが付かないようご注意ください。

●背面

SDカードストッパー
SDメモリーカードが抜けないようにします。

映像出力切換／リセットボタン
短く押すたびに映像出力がLAN側と映像出力端子側に切り換わります。
長く（約5秒以上）押すと、本機のファームウェアの設定内容が初期値（お買い上げの状態）に戻ります。

映像出力端子
映像の出力端子でビデオモニターに接続します。(BNC)
画角調整時に使用します。

DC12V電源入力端子
DC12Vの電源を接続します。

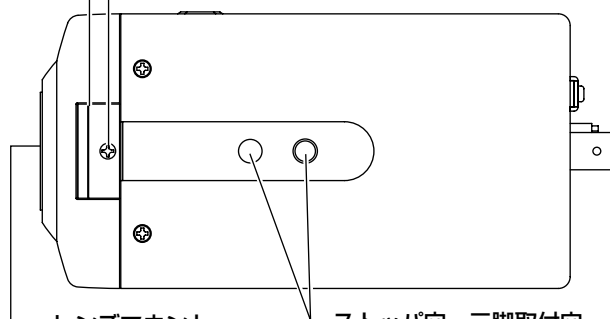
音声出力端子
音声出力端子です。アンプ付きスピーカーなどの音声出力機器に接続します。

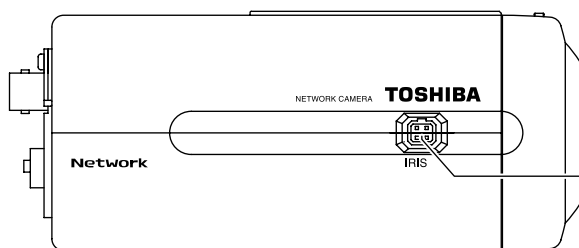
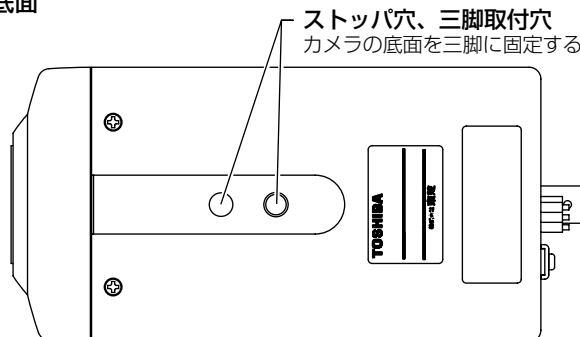
LAN端子
LANケーブルを接続します。
PoE対応のハブも接続できます。

SDカードスロット
SDメモリーカードを挿入します。

アラーム端子
外部アラーム機器を接続します。

マイク入力端子
音声入力端子です。
マイクを接続します。

●上面

●左側面

●底面

お願い

- カメラを三脚に固定する際は、三脚のストッパとカメラのストッパ穴がずれないように固定してください。
- 三脚ネジは、カメラ内部にはいる寸法が 6mm 以下のものをお使いください。

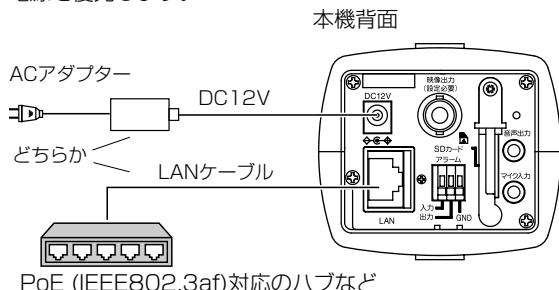
レンズの取付けとビデオモニターとの接続

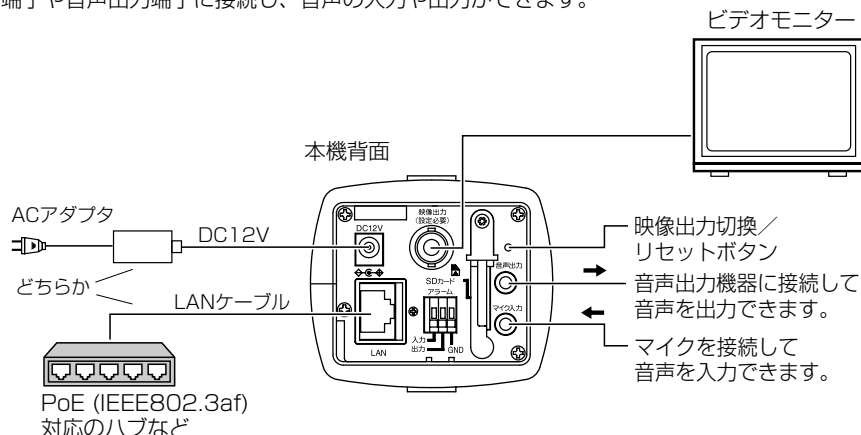
レンズの取付け

カメラ本体にレンズを取り付けます。使用可能なレンズは「レンズの調整のしかた」（→16ページ）をご参照ください。

電源の接続

供給電源として、PoE対応のハブなど、またはDC12Vを接続してください。

PoE対応のハブなどとDC12Vを同時に接続したときは、PoE対応のハブなどからの供給電源を優先します。

ビデオモニター等との接続

ビデオモニターを映像出力端子に接続し、カメラの映像を見ることができます。マイク入力端子や音声出力端子に接続し、音声の入力や出力ができます。

映像出力端子からカメラの映像を出力するには、映像出力切換／リセットボタンを短く押してください。押すたびにカメラの映像出力がLAN端子側と映像出力端子側に切り換わります。

なお、映像出力切換／リセットボタンを長く（約5秒以上）押すと、本機のファームウェアの設定内容が初期値（お買い上げの状態）に戻りますので、ご注意ください。

お知らせ

- 映像出力端子は基本的に画角調整時に使用する目的で設計された端子です。映像出力端子から映像出力をしているときは、LAN端子側からの出力はされません。また、SD メモリーカードへの記録も行われません。

■音声入出力について

本機のマイク入力には、プラグインパワー方式に対応した3.5mm モノラルミニジャックのマイクをご使用ください。音声出力には、3.5mmモノラルミニジャックのアンプ内蔵型のスピーカをご使用ください。

お願い

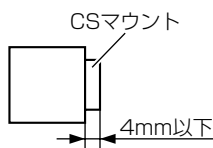
- 接続する際は、必ず各機器の電源プラグを抜いておいてください。
- ビデオモニター等との接続には 75 Ωの同軸ケーブルが必要です。
- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
- レンズ、同軸ケーブル、LAN ケーブル、AC アダプターは付属していません。
- AC アダプターをお使いになる場合は、お客様のもとで 10W 以上の供給可能な AC アダプターをご用意ください。
- PoE対応のハブなどにつなぐLANケーブルは、4対のツイストペアケーブルをご使用ください。
- IEEE802.3af に準拠した PoE 対応の機器を使用してください。

お知らせ

- 本機の起動には、電源投入後 30 秒ほどかかります。

レンズの調整

使用可能なレンズ

CSマウントレンズは、マウント座面からの突出寸法が4mm以下のものをご使用ください。

お願い

- ズームレンズ等、400g以上のレンズを使用する場合は荷重負担による破損を防止するために、カメラ本体のみでなくレンズ側でも保持してください。

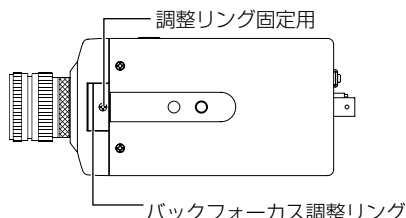
お知らせ

- 別売のCS-C変換アダプター（JK-ADP-CS）を付けることによってCマウントレンズを使用することもできます。（この場合、画角が変わります。）

バックフォーカスの調整のしかた

出荷時には標準のバックフォーカス位置に調整されていますが、ズームレンズの種類によって若干の再調整を必要とする場合があります。

レンズを正しく取り付けた状態で調整リング固定用ネジをゆるめ、被写体の距離とレンズの距離目盛が正しく合うようにモニターで確認しながらカメラ上部のバックフォーカス調整リングで調整します。

調整後調整リング固定用ネジをしめてください。

アイリス調整のしかた

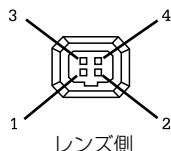
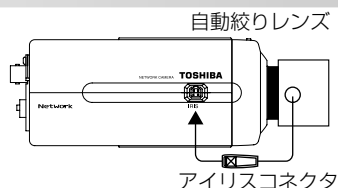
■自動絞りレンズ

本機は、アイリスアンプ無しレンズ（DC）の自動絞りレンズに対応しています。

1 自動絞りレンズのアイリスコネクタを本体左側面のIRIS端子（4P）に接続する

2 カメラ／基本設定画面の「IRIS制御」（→57ページ）を「DC（自動絞りレンズ）」に設定する（出荷時：DC（自動絞りレンズ））

DCレンズの場合は適正な露出が得られるようにカメラ／基本設定画面の「明るさ調整」（→54ページ）を調整してください。

レンズ側

	DCレンズ
IRIS端子	1. 制動(－)
	2. 制動(＋)
	3. 駆動(＋)
	4. 駆動(－)

お願い

- アイリスコネクタの接続を誤りますと、カメラ内部で発熱し、誤動作や故障の原因となりますのでご注意ください。
- 自動絞りレンズを使用するときには、誤動作の原因になりますので「IRIS制御」を「AES（固定絞りレンズ）」設定で使わないでください。
- 自動絞りレンズの絞り調整は、被写体の光量が十分な環境下で一度開放状態にしてから行ってください。光量が不十分な場合、誤動作の原因になります。

■固定絞りレンズ

「IRIS制御」（→57ページ）を「AES（固定絞りレンズ）」にすると、固定絞りレンズを使用したときに、被写体の光量に合わせて電子シャッタが1/30sから1/50000sまで自動的に働き、露出を合わせることができます。

適正な露出が得られるようにカメラ／基本設定画面の「明るさ調整」（→54ページ）を調整してください。

逆光補正

本カメラはカメラ／基本設定画面の「逆光補正」（→57ページ）で「自動（エリア自動設定）」または測光エリアを設定することで、オートアイリスレンズを使用した場合または固定絞りレンズを「AES（固定絞りレンズ）」モードで使用した場合に、設定した測光エリアで適正な露出が得られるように自動的に制御されます。

お知らせ

- 背景が極めて明るい場合など、周辺部とのコントラスト差が大きい場合には十分な効果が得られないことがあります。
- 「AES（固定絞りレンズ）」では、フリッカーが発生することがありますが、異常ではありません。

ホワイトバランス（WB）

正しい色調の映像を得るためには、ホワイトバランスの調整が必要です。本カメラは、ホワイトバランスの設定を「自動」に設定すると、光源の色温度約2500K～7000Kの範囲でカメラが自動的にホワイトバランスを合わせます。自動でうまく合わせることができない場合、各固定モードまたはマニュアルモードで合わせることができます。ホワイトバランスの設定のしかたは、55ページをご覧ください。

ネットワークカメラ環境を準備する

ネットワークカメラ監視システムに必要なもの

○ 管理者用パソコン

本取扱説明書では、ネットワークカメラに対して設定・操作・監視などのすべての権限が与えられるパソコンを「管理者用パソコン」と呼びます。

※本取扱説明書では、監視画像を見るだけの端末のことを「利用者用パソコン」と呼びます。１台のネットワークカメラで複数の利用者用パソコンから監視画像を見ることができます。最大９台のカメラまで、利用者パソコンから監視画像を見ることができます。

パソコン推奨動作条件

・Windows® 2000/XP
・Internet Explorer Ver.6.0
・CPU：Intel® Pentium® Ⅲ 800MHz以上
・メモリ：256MB以上

○ ネットワークカメラ（本製品）

・設置する場所に合わせて、カメラを必要台数お求めください。

○ ネットワークシステム環境に合わせた接続機器（ハブ、ルータなど）とLANケーブル

・接続方法によって使用するLANケーブルの種類が異なります。詳しくは「接続の構成」（→20ページ）をご覧ください。

○ カメラ検索アプリケーション「Camera Finder」

・「http://www.toshiba.co.jp/g_camera/」からダウンロードしてインストールしてください。（→22ページ）

■IP アドレスについて

ネットワークに接続するためには、管理者がIPアドレスをネットワークカメラに設定する必要があります。

IP アドレスを設定するには、以下の二つの方法があります。

- DHCPサーバから自動取得する
- 手動でIPアドレスを入力する

● DHCP サーバで自動取得する

お買上げ時は、DHCPサーバから自動取得するように設定（「ネットワーク／基本設定」で DHCP ON ／ OFF が ON に設定）されています。DHCP サーバを利用しているネットワークの場合は、そのままにしてください。

● 手動で IP アドレスを入力する

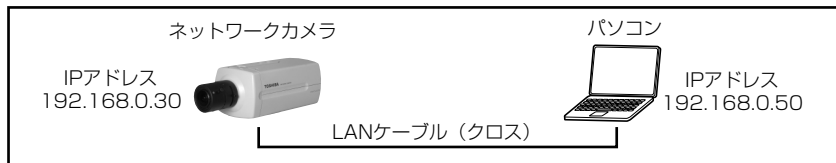
- DHCP サーバを利用していない場合、または DHCP サーバがあっても利用しない場合は、IP アドレスを手入力で設定します。
- DHCP サーバを利用する場合は、ネットワークカメラの IP アドレスが随時更新され変更される場合があります。したがって前回設定した IP アドレスのままネットワークカメラにアクセスしても、IP アドレスが変更されていて接続できない場合があります。

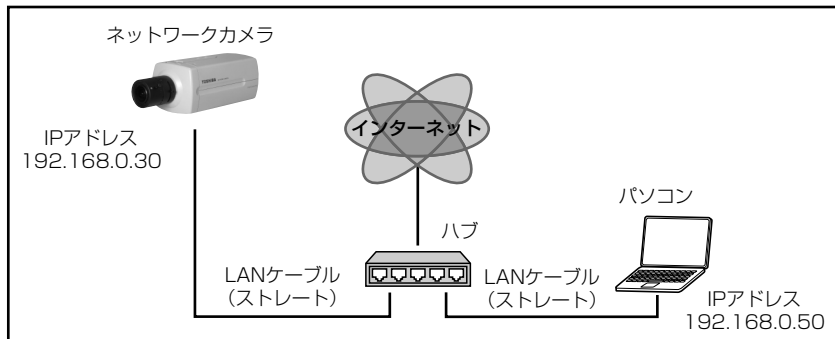
  このような場合、ネットワークカメラにアクセスできるようにするためにはネットワークカメラに固定 IP アドレスを設定（IP アドレスを手入力で設定）しておく必要があります。また使用されているネットワークシステムの機器（ルータ、ハブ、モデムなど）の取扱説明書もよくお読みください。
- 手動で IP アドレスを入力する場合は、「ネットワーク／基本設定」（→ 64 ページ）で、DHCP ON/OFF を OFF に設定し、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、プライマリ DNS、セカンダリ DNS を入力してください。

カメラとパソコンをネットワーク接続する(つづき)

接続の構成

ネットワークカメラを接続する構成には以下の二つがあります。
・クロスケーブルによる接続
・ハブ経由による接続

●クロスケーブルによる接続の一例

クロスケーブルは、お客様でご用意ください。

●ハブ経由による接続の一例

ストレートケーブルやハブは、お客様でご用意ください。

お知らせ

- ハブには IP アドレスを割り当てる必要はありません。
- お買上げ時の状態ではカメラのIPアドレスはDHCPを使わない場合192.168.0.30に自動設定されますので、パソコンのIPアドレスを同一サブネット内に設定してください。(クロスケーブルを使用して直接接続する場合や、ハブを経由して接続する場合は、同じネットワークセグメントである必要があります。)
  カメラを複数使うときは、1台ずつIPアドレス192.168.0.30で接続し、2台目以降のIPアドレスをそれぞれ別のIPアドレス（192.168.0.31など）に変更してください。
- ハブの代わりにお使いのブロードバンドルータのLANポートを使用しても問題ありません。ただし、ブロードバンドルータでDHCPサーバ機能が有効になっていますと、カメラをルータに接続したあとに電源を入れた場合、カメラはルータのDHCPサーバからIPアドレスを取得し、必ずしも192.168.0.30にならないことがあります。
  詳しくは、お使いのブロードバンドルータの取扱説明書を参照してください。
  また、パソコンに設定するIPアドレスもルータのDHCPサーバから取得するようにすることをおすすめします。
  こちらも、お使いのパソコンの取扱説明書を参照してください。

接続する

1 LANケーブルを接続し、電源を入れる

カメラにつないだＬＡＮケーブル(ストレート)を電源のはいったハブに接続します。または、カメラを電源のはいったパソコンにLANケーブル（クロス）で接続します。

- ･PoE対応のハブ、ルータ、LANケーブルを接続する場合、電源端子に何も接続しなくても本機に電源がはいります。
- ･PoE対応のLANケーブルを使用しない場合は、電源端子にDC12Vを接続してください。

2 パソコンのIPアドレスを設定する

- ･ネットワークカメラ本体のIPアドレス（ここでは192.168.0.30とします）以外のアドレスで、お客様の使用していないアドレスを設定してください。
- ･たとえば、192.168.0.50（サブネットマスク255.255.255.0）をIPアドレスとして設定してください。
- ･設定方法はパソコンの取扱説明書をよくお読みください。

3 パソコンからカメラに応答があるか確認する

- ･コマンドプロンプトを立ち上げた状態で「ping 192.168.0.30」を実行してください。
- ･「Reply from...」というメッセージが表示されたら正しく接続されています。

4 「Camera Finder」（→22ページ）でカメラを検索し、カメラの画像を見てみる

①「Camera Finder」を起動し、「Search」ボタンをクリックする
- ･リストに「nwcam12」が表示されていることを確認します。

②「nwcam12」をマウスで選択する
- ･下のネットワークカメラログインの欄にカメラ名、IPアドレス、HTTPポート番号が表示されていることを確認します。

③「Administrator」ボタンまたは「User」ボタンをクリックする
- ･「Administrator」ボタンをクリックした場合は、ユーザー名とパスワードの入力の画面が表示されます。管理者ログインIDとパスワードを入力してください。(→「管理者ログインする」25ページ)

④ ネットワークカメラのカメラ画像画面が表示されます。

お知らせ

- 「Camera Finder」を使わないで画像を見るには、インターネットブラウザを起動し、アドレスにURL「http://192.168.0.30/」を入力し、ENTERを押します。
- 本機の起動には、30秒ほどかかります。
- 80以外のポート番号を設定した場合は、「http://192.168.0.30:88/」のように、「:」の後ろにポート番号を指定してください。

カメラ検索アプリケーション「Camera Finder」を使う

カメラ検索アプリケーション「Camera Finder」は、管理者パソコンまたは利用者パソコンから、現在見ることのできるネットワークカメラを検索し接続するためのアプリケーションです。このアプリケーションは、東芝サイトからのダウンロードによってご利用いただけます。

●「Camera Finder」をセットアップする

1 インターネットで東芝サイトにアクセスする

URL：http://www.toshiba.co.jp/g_camera/

2 パソコンに保存先フォルダを作成して、ダウンロードする

・詳しくはホームページの説明に従って、ダウンロードしてください。

3 「Setup」ファイルをクリックし、画面の説明に従ってCamera Finderをインストールする

お願い

- 「Camera Finder」は、Windows 2000とWindows XPにのみ対応しています。それ以外のOSでは、お使いのパソコンに問題が発生することがありますので、インストールしないでください。

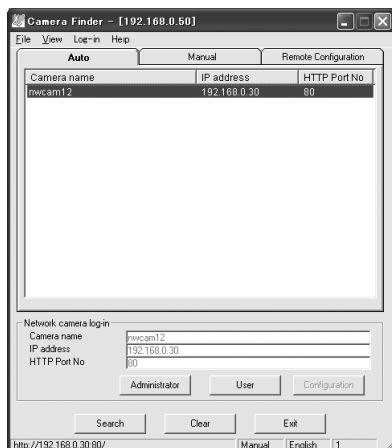
●「Camera Finder」でカメラを検索する

1 スタート／プログラム／TOSHIBA Network Camera／Camera Finderを選ぶ

2 「Search」ボタンをクリックする

・現在ネットワーク上につながっているすべてのカメラが表示されます。
（検索結果を消去するには）
「Clear」ボタンをクリックする

3 検索されたカメラにログインするには検索一覧のお好みのカメラをクリックする

・「Network camera log-in」に選択したカメラの名称とIPアドレスが表示されます。

4 「Administrator」ボタンまたは「User」ボタンをクリックする

・管理者ログインするには、「Administrator」ボタンをクリックします。(→「管理者ログインする」25 ページ)

・利用者ログインするには、「User」ボタンをクリックします。(→「利用者ログインする」25 ページ)

・ログインせずに終了するには、「Exit」ボタンをクリックします。

お知らせ

● 管理者ログインと利用者ログインでは、ログインしたあとにできる操作が異なります。(→ 24 ページ)

お願い

● 本ソフトを使用して発生したいかなる障害に対しても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

はじめに
見る・聞く・操作する
記録する
設定する
その他

管理者ログインと利用者ログイン

本機は、「管理者ログイン」した人を「管理者」とみなし、「利用者ログイン」した人を「利用者」とみなします。

「管理者ログイン」では、すべての機能の操作ができ、「利用者ログイン」では、できる操作が制限されています。

管理者と利用者で機能を利用できる範囲の違いは以下のとおりです。

機能		管理者	利用者
画像をみる	ライブ画像	○	○
	再生画像	○	×
音声を聞く※1		○	○
記録する	カメラの内部記録	○	×
	FTP サーバへの記録	○	×
設定する		○	△※2

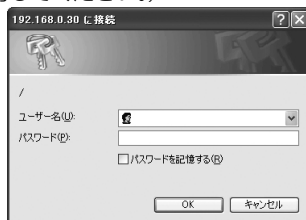
※ 1　カメラからの音声をパソコンで再生するだけでなく、パソコンで入力した音声をカメラで再生させることもできます。

※ 2　管理者の設定によって、利用者が一部の機能を利用できるようになります。(→ 74 ページ「セキュリティ／ユーザー操作の許可設定」)

管理者ログインする

1 「Camera Finder」(→ 22 ページ)で本機を検索し、「Administrator」ボタンをクリックする

・ユーザ名とパスワードの入力画面が表示されます。

・「Camera Finder」を使わないで管理者ログインするには、インターネットブラウザを起動し、アドレスにURL「http://192.168.0.30/admin.htm」を入力し、ENTERをクリックします。(IPアドレスは、お客様がネットワークカメラに設定したIPアドレスを入力してください。)

2 ユーザ名とパスワードの欄に、管理者ログインIDとパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックする

・管理者ログイン画面とカメラ画像画面が表示されます。

・お買い上げ時の管理者ログインIDは「root」、パスワードは「ikwb」に設定されています。

お願い

- 管理者ログインでは、あらゆる設定の書換えができます。カメラのセキュリティを確保するために、お買い上げ時の管理者ログインIDとパスワードは必ず変更してください。また、新しいログインIDとパスワードを忘れないようにしてください。変更のしかたは、「管理者機能／管理者ID・パスワード変更」(→ 78 ページ)をご覧ください。

利用者ログインする

1 「Camera Finder」（→22ページ）で本機を検索し、「User」ボタンをクリックする

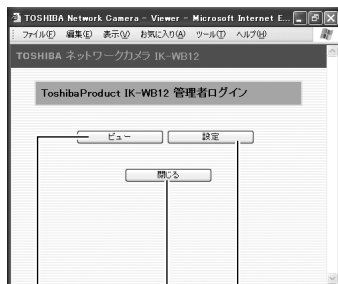
・利用者ログイン画面とカメラ画像画面が表示されます。

・「Camera Finder」を使わないで利用者ログインするには、インターネットブラウザを起動し、アドレスにURL「http://192.168.0.30/」を入力し、ENTERをクリックします。（IPアドレスは、お客様がネットワークカメラに設定したIPアドレスを入力してください。）

お願い

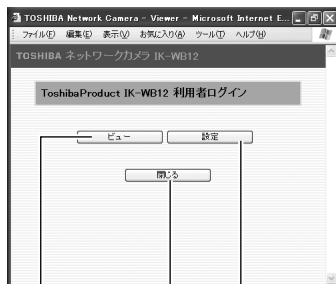
- お買い上げの状態では、利用者のログイン制限はありません。必要に応じて、利用者のログイン制限を設定してください。ログイン制限をONに設定すると、ログイン時、ユーザ名とパスワードの入力画面が表示されます。設定のしかたは、「セキュリティ／ユーザ管理」（→73ページ）をご覧ください。

管理者ログイン画面と利用者ログイン画面について

管理者ログイン画面

カメラ画像画面を表示します。

管理者設定メニュー画面を表示します。

管理者ログイン画面を閉じます。

利用者ログイン画面

カメラ画像画面を表示します。

利用者設定画面を表示します。

利用者ログイン画面を閉じます。

設定画面について

カメラ画像画面で [📖] ボタンをクリックすると、設定画面が表示されます。
設定のしかたは「設定する」の章（→ 52 ページ）をご覧ください。

「リセット」ボタン
変更する前の状態に戻します。

お知らせ

- 利用者ログインした場合は、左側の管理者設定メニューは表示されず、利用者が利用できる設定項目（セキュリティ／ユーザー操作の許可設定（→ 74 ページ）で設定）だけが表示されます。

見る・聞く

カメラ画像を見るには

パソコンのインターネットブラウザで、ネットワークカメラのカメラ画像を表示できます。

● 準備

・Cookie を有効にしてください。

・ プロキシサーバを使用している場合は、「プロシキサーバ使用時のブラウザ設定」（→ 28 ページ）を行ってください。

・インターネットオプションのセキュリティを以下のように変更してください。

1）ツールメニューの「インターネットオプション」をクリックします。

2）「セキュリティ」タブをクリックします。

3）使用するカメラがイントラネット内であれば「イントラネット」、インターネット上であれば「インターネット」のアイコンをクリックします。

4）「レベルのカスタマイズ」をクリックします。

5）表示されたリスト内の以下のラジオボタンにチェックを入れます。

・「ActiveX コントロールとプラグインの実行」の「有効にする」

・「スクリプトを実行しても安全だとマークされているActiveXコントロールのスクリプトの実行」の「有効にする」

・「署名済み ActiveX コントロールのダウンロード」の「有効にする」

6）「OK」をクリックします。

1 本カメラにログインする

・お使いのブラウザが起動し、本カメラのカメラ画像画面が表示されます。

・ログインの方法は、「管理者ログインと利用者ログイン」（→ 24 ページ）をご覧ください。

・初めて表示するときは、セキュリティ警告（ベリサイン）の画面が表示されます。「はい」をクリックしてください。

2 カメラ画像画面を閉じるにはウィンドウ右上の [X] ボタンをクリックする

お知らせ

- カメラ画像画面のシングル画面は、カメラからの配信画像サイズと同じ大きさになります。
- カメラ画像画面は、ウィンドウの大きさを自由に大きくしたり、小さくしたりすることができます。
- 配信画像サイズを小さくした場合、カメラ名や時計表示が欠けることがありますが、ウィンドウを大きくすることで表示されるようになります。
- JPEGの伸長には、“Independent JPEG Group's JPEG software”のソフトウェアを使用しています。“This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group”

● プロキシサーバ使用時のブラウザ設定

プロキシサーバを使用している場合は、ネットワークカメラとの通信時にプロキシサーバを経由しないようにブラウザを設定することをおすすめします。

1）ブラウザを起動します。

2）ツールメニューから「インターネットオプション」を選びます。

3）「接続」タブをクリックします。

4）「LAN設定」をクリックします。

・ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定画面が表示されます。

5）プロキシサーバを使用するのチェックボックスがチェックされているかどうかを確認します。

・チェックボックスがチェックされていない場合：
お使いのブラウザにはプロキシを使用しない設定になっています。「キャンセル」をクリックして設定を終了してください。

・チェックボックスがチェックされている場合：
「詳細設定」をクリックしてください。プロキシの設定画面が表示されます。

6）ネットワークカメラのIPアドレスを「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない」の入力欄に入力します。

7）OKをクリックします。

お知らせ

- 企業内のファイヤウォールを備えたプロキシサーバでは、ネットワークカメラに直接接続できない場合があります。その場合には、ネットワークやネットワークカメラの動作に影響がでないように、ネットワーク管理者に相談してください。
- プロキシサーバを経由してネットワークカメラと通信を行うと、何らかの問題が生じることがあります。ネットワーク管理者と相談し、設置してください。
- プロキシサーバを経由してネットワークカメラを使用する場合、ログインしてから画像が表示されるまでに時間がかかったり、画像配信のフレームレートが下がることがあります。

■音声を聞く

ネットワークカメラの音声入力端子に接続したマイクの音声をパソコンから出力できます。「カメラ／音声設定（→62ページ）」で、音声入力を「ON」に設定し、カメラ画像操作ボタンの ボタンを 表示にしてください。

■カメラ画像画面

項目番号および項目	説　　　明
①カメラ名	現在画像を表示しているカメラ名を表示します。
②操作ボタン	[×1]：[×1] ボタンをクリックすると元の画面の大きさに戻ります。 [カメラ]：1ショットボタン。[カメラ]ボタンをクリックすると現在の画像を取り込みます。（→50ページ） [スピーカー]：[消音]ボタンをクリックすると[スピーカー]ボタンに表示が変わり、音声が出力します。[スピーカー]ボタンをクリックすると[消音]ボタンに表示が変わり、音声出力しません。（→28ページ） [マイク]：[マイクオフ]ボタンをクリックすると[マイク]ボタンに表示が変わり、パソコンのマイクから入力した音声をカメラに出力します。[マイク]ボタンをクリックすると[マイクオフ]ボタンに表示が変わり、パソコンのマイクから入力した音声をカメラに出力しません。（→35ページ） [拡大]：カメラ画像を拡大する機能です。最大5倍まで拡大することができます。[拡大]ボタンをクリックするごとにウィンドウの中の画像を段階的に拡大することができます。拡大される画像はカメラからの配信画像サイズが大きくなるのではなく、一度受信した画像をパソコン上で拡大します。したがって画質が劣化する場合があります。 ※マウスのポインタでウィンドウを大きくすると任意のサイズに拡大することもできます。 [縮小]：[拡大]ボタンで拡大されたカメラ画像を縮小する機能です。[縮小]ボタンをクリックするごとにウィンドウの中の画像を段階的に縮小することができます。原寸画像サイズに達した場合、それ以上縮小することはできません。 ※マウスのポインタでウィンドウを小さくすると任意のサイズに縮小することもできます。 [画像記録]：[画像記録]ボタンをクリックするとパソコンに画像を記録します。（→50ページ） [音声記録]：[音声記録]ボタンをクリックするとパソコンに音声を記録します。（→51ページ）

項目番号および項目	説　　　　明
③コントローラ表示	ボタンをクリックすると別ウィンドウでコントローラが表示されます。
④画面切換	ボタンをクリックするとマルチ画面設定（→75〜77ページ）で設定したカメラの台数に応じて、自動的にフレームが分割されてマルチ画面となります。シングル画面に戻るには、 ボタンをクリックしてください。マルチ画面設定のマルチスクリーン・ディスプレイ（→77ページ）がOFFの場合は、表示されません。
⑤設定メニュー表示	ボタンをクリックすると別ウィンドウで設定メニュー画面が表示されます。
⑥アラーム発生通知 ! Alarm	ネットワークカメラでモーション検出（→60ページ）や外部アラームが入力（→60ページ）された場合に表示されます。表示された ! Alarm をクリックすると表示が消えます。
⑦表示画像の区別	現在ネットワークカメラが映し出している通常画像のときには「LIVE」と表示され、アラームリストやノーマルリストなどの再生を行っているときには「PLAYBACK」と表示されます。この切換はコントローラから行います。
⑧日時	「LIVE」と表示されているときはネットワークカメラの現在日時か表示され、「PLAYBACK」と表示されているときはネットワークカメラが記録したときの日時※が表示されています。 PLAYBACK状態のときに日時データにS)やE)と表示されることがあります。S)では再生画像の先頭、E)では後尾に達したことを意味し、この状態では画像および日時の更新は行われません。コントローラからプレイバック操作をしてください。 ※SDメモリーカード内の画像再生は、記録間隔にかかわらず1秒間隔で行います。

はじめに
見る・聞く・操作する
記録する
設定する
その他

■カメラからのログアウト（切断）

1 カメラ画像画面は右上にある [X] をクリックし、画面を閉じる

2 設定画面は、画面左にある、設定終了 ボタンをクリックする

・終了の確認のメッセージが表示されます。

3 メッセージに従って終了する

■コントローラ

●記録画像再生ボタン

項目	説　　　明
◀◀	再生画像を早戻します。日時表示にS)と表示されたら、記録画像が先頭まで戻っています。
◀❙	再生画像を１コマ単位で逆方向にコマ送りします。
❙❙	再生中の画像を一時停止します。
❙▶	再生画像を１コマ単位でコマ送りします。
▶▶	再生画像を早送りします。日時表示にE)と表示されたら、再生画像が後尾まで達しています。
LIVE	再生画像モードを現在の画像モードへ戻します。
▶	選択中の画像を再生します。

お知らせ

● 利用者ログインでは、記録画像再生ボタン、アラームリストボタン、ノーマルリストボタン、外部リストボタンは表示されません。

アラーム記録画像を再生する

アラーム記録（→38ページ）画像を再生することができます。再生は、記録時の設定と関係なく一定の間隔で行われます。画像サイズなどは、アラームが発生したときの画像の設定によります。本操作をするには管理者ログインしてください。利用者ログインではできません。

1 カメラ画像画面表示中に ボタンをクリックする

・コントローラが表示されます。

2 コントローラの アラームリスト ボタンをクリックする

・アラームリストが表示されます。

3 再生したいアラームリストの右端にある再生ボタン「 」をクリックする

・選択したアラームリストの画像が再生されます。

お知らせ

- アラームリストは左から「リスト番号」、「アラーム種別」、「発生日時」、「再生ボタン」という構成になっています。
- 画面下側の《 をクリックすると、前のページのリストを表示します。》をクリックすると、次のページのリストを表示します。
- リストのページ番号を入力し、画面下側の《 》をクリックすると、直接そのページのリストを表示します。
- コントローラの記録画像再生操作ボタン（→31 ページ）を使って、早戻し、早送りなどをすることができます。
- 再生画面から現在のカメラ画像画面に戻るには、LIVE ボタンをクリックしてください。
- 再生中は、記録はできません。
- アラームリストを表示中に新たにアラームがはいっても、すぐにリストに追加されません。一度アラームリストを閉じて、再度表示してください。

ノーマル記録画像を再生する

ノーマル記録（→38ページ）画像を再生することができます。再生は、記録時の設定と関係なく一定の間隔で行われます。画像サイズなどは、記録時の設定によります。本操作をするには管理者ログインしてください。利用者ログインではできません。

1 カメラ画像画面表示中に ボタンをクリックする

・コントローラが表示されます。

2 コントローラの ノーマルリスト ボタンをクリックする

・ノーマルリストが表示されます。

3 再生したいノーマルリストの右端にある再生ボタン「 」をクリックする

・選択したノーマルリストの画像が再生されます。

お知らせ

- ノーマルリストは左から「リスト番号」、「発生日時」、「再生ボタン」という構成になっています。
- 画面下側の « をクリックすると、前のページのリストを表示します。» をクリックすると、次のページのリストを表示します。
- リストのページ番号を入力し、画面下側の « » をクリックすると、直接そのページのリストを表示します。
- コントローラの記録画像再生操作ボタン（→31ページ）を使って、早戻し、早送りなどをすることができます。
- 再生画面から現在のカメラ画像画面に戻るには、LIVE ボタンをクリックしてください。
- ノーマルリストは、1時間単位で追加されます。
- 再生中は、記録はできません。

外部制御記録画像を再生する

SDメモリーカードに記録されている外部制御記録（→38ページ）画像を再生することができます。再生は記録された時間と関係なく一定の間隔で行われます。画像サイズなどは、記録時の設定によります。本操作をするには管理者ログインしてください。利用者ログインではできません。

1 カメラ画像画面表示中に ［ ］ ボタンをクリックする

・コントローラが表示されます。

2 コントローラの 外部リスト ボタンをクリックする

・外部制御記録リストが表示されます。

3 再生したい外部制御記録リストの右端にある再生ボタン「 」をクリックする

・選択した外部制御記録リストの画像が再生されます。

お知らせ

- 外部制御記録リストは左から「リスト番号」、「発生日時」、「再生ボタン」という構成になっています。
- 画面下側の ≪ をクリックすると、前のページのリストを表示します。 ≫ をクリックすると、次のページのリストを表示します。
- リストのページ番号を入力し、画面下側の ≪ ≫ をクリックすると、直接そのページのリストを表示します。
- コントローラの記録画像再生操作ボタン（→31ページ）を使って、早戻し、早送りなどをすることができます。
- 再生画面から現在のカメラ画像画面に戻るには、LIVE ボタンをクリックしてください。
- 再生中は、記録はできません。
- 外部制御記録リスト表示中に新たに外部制御記録を受け付けても、すぐにリストに追加されません。一度、外部制御記録リストを閉じて、再度表示してください。

話す

パソコンにマイクを接続し、マイクの音声をカメラに接続したスピーカーなどから出力できます。

1 管理者設定メニューで「カメラ設定」をクリックし、サブメニューの中の「音声」をクリックする

・カメラ／音声の設定画面が表示されます。

2 「音声出力」を「ON」に設定する（→ 63 ページ）

3 カメラ画像画面の操作ボタンの ボタンをクリックし、 表示にする

お知らせ

- カメラの音声出力端子に、音声出力機器（アンプ内蔵スピーカーなど）を接続してください。（アンプのないスピーカーをつないでも音声は出ません。）
- パソコンに接続するマイクについては、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 同時に複数のパソコンの音声は出力できません。（一台のパソコンに限られます。）
- 管理者ログインで手順２の設定をすれば、利用者ログインでも「話す」の機能が行えます。

画像記録について

ネットワークカメラは必要に応じて画像または音声を記録することができます。記録可能な媒体とその内容は以下のとおりです。

記録可能な媒体	記録できる内容
SDメモリーカード	・アラーム記録（→38ページ）で設定されたアラーム記録画像 （外部アラーム画像／モーション検出時画像） ・ノーマル記録（→38ページ）で設定されたノーマル記録画像 ・外部制御による記録画像
FTPサーバ	・スケジュールによる記録画像 ・アラームによる記録画像 ・外部制御による記録画像
パソコン	・ ボタンを使って記録した1枚の画像（JPEG）（→50ページ） ・ ボタンを使って記録した画像（JPEG）（→50ページ） ・ ボタンを使って記録した音声（WAVE）（→51ページ）

お知らせ

● SDメモリーカードには、アラーム記録、ノーマル記録、外部制御記録を同時に行えません。外部アラーム記録>外部制御記録>モーション検出記録>ノーマル記録の順で優先されます。また、再生中は記録されません。

SD メモリーカードに画像を記録する

ネットワークカメラに挿入したSDメモリーカードに、外部アラーム時画像、モーション検出時画像、外部制御記録画像、ノーマル記録画像を記録することができます。
アラーム画像の記録は、先に「アラーム設定」（→ 59 ページ）を行ってから、以下の手順で記録設定をしてください。

記録設定

1 SD メモリーカードを装着する

・SD カードストッパー（→ 12 ページ）をはずし、SD カードスロット（→ 12 ページ）に SD メモリーカードを挿入し、SD カードストッパーを取り付けます。
・管理者設定メニューで「SD 装脱着ウィザード」をクリックし、表示された「SD メモリーカードの装脱着」の画面で「SD メモリーカードを取り付ける。」にチェックを入れ、「実行」ボタンをクリックしてください。
・「SD メモリーカードの装脱着」の画面で「フォーマット」ボタンをクリックすると、SD メモリーカードをフォーマットできます。

お願い

- SD カードを取り出す場合は必ず、「SD メモリーカード装脱着」の画面で「SD メモリーカードを取り出す。」にチェックを入れ、「実行」ボタンをクリックしてください。

2 管理者設定メニューで「カメラ設定」をクリックする

・カメラ設定のサブメニューが表示されます。
・管理者ログインしていない場合は管理者設定メニューが表示されないため、管理者ログインをしてください。

3 サブメニューの中の「記録」をクリックする

・カメラ／記録の設定画面が表示されます。

TOSHIBA ネットワークカメラ／管理者設定 - Microsoft Internet Explorer
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
TOSHIBA ネットワークカメラ IK-WB12
ToshibaProduct IK-WB12 画像
管理者設定メニュー 設定終了
aboutme
カメラ設定
1. 基本設定
2. アラーム
3. 記録
4. FTP記録
5. 音声
ネットワーク設定
セキュリティ設定
マルチ画面設定
管理者機能
ログ管理
SD装脱着ウィザード

カメラ／記録

アラーム記録	
外部アラーム	ON（「アラーム」設定で外部アラーム検知機能が「ON」の場合のみ記録できます） OFF
モーションセンサー	ON（「アラーム」設定でモーションセンサー機能が「ON」の場合のみ記録できます） OFF
プリ画像の記録枚数	3
ポスト画像の記録枚数	10
記録周期間隔	10 秒

ノーマル記録	
ノーマル記録	ON OFF

外部制御による記録	
外部制御記録	ON（「アラーム」設定でEXTコントロール機能が「ON」の場合のみ記録できます） OFF
記録周期間隔	1 秒

オーバーライト	
オーバーライト	ON OFF

リセット　保存　工場出荷値へ

記録ファイルの削除
すべて削除
アラームリストを表示して削除
ノーマルリストを表示して削除
外部制御のリストを表示して削除

4 各項目を設定する

■ アラーム記録

● **外部アラーム**

ON ：外部アラーム発生時に画像を記録します。

OFF ：外部アラーム発生時に画像を記録しません。

● **モーションセンサー**

ON ：モーション検出時に画像を記録します。

OFF ：モーション検出時に画像を記録しません。

● **プリ画像の記録枚数**

アラームが発生した直前の画像を記録する枚数を設定します。アラームが発生した瞬間の画像は含まれません。

● **ポスト画像の記録枚数**

アラームが発生した直後の画像を記録する枚数を設定します。アラームが発生した瞬間の画像は含まれません。

● **記録周期間隔**

アラーム記録の記録する周期間隔を設定します。

■ ノーマル記録

ON ：スケジュール、記録周期間隔にしたがって画像を記録します。
「ON」にすると、記録するスケジュール、周期間隔を設定できます。

OFF ：ノーマル記録をしません。

■ 外部制御による記録

● **外部制御記録**

ON ：外部制御記録をします。

OFF ：外部制御記録をしません。

● **記録周期間隔**

外部制御記録の記録する周期間隔を設定します。

SXVGA のときには、1 秒間隔での記録はできません。1 秒間隔に設定された場合、2 秒間隔になります。

■ オーバーライト

ON ：記録中にSDメモリーカードが一杯になった場合、古いものから順に上書きします

OFF ：記録中に SD メモリーカードが一杯になった場合、記録を中止します。

5 項目の下にある「保存」ボタンをクリックする

・変更内容が保存されます。

お知らせ

- 項目の下にある「リセット」ボタンをクリックすると、最後に保存した設定内容に戻ります。
- 項目の下にある「工場出荷値へ」ボタンをクリックすると、工場出荷時（お買い上げ時）の値に戻ります。
- アラーム１件あたりの全記録枚数は、プリ画像枚数＋アラーム発生瞬間画像１枚＋ポスト画像枚数となります。
- 外部アラームまたはモーション検出をするには、アラーム設定（→ 59 ページ）の「アラーム」または「モーションセンサー」が有効になるように設定してください。
- 外部制御記録をするには、アラーム設定（→ 59 ページ）の「EXT コントロール」が有効になるように設定してください。
- オーバーライト（上書きモード）を「ON」に設定した場合、古いファイルから削除されます。たいせつなデータがある場合は「OFF」に設定してください。
- 電源投入時、SD メモリーカードの記録リスト取得に５分以上かかる場合があります。記録リスト取得中は記録できません。記録リスト取得状態は、管理者設定メニューの「about me」をクリックすると表示されます。
- SDメモリーカードの種類によっては、記録周期間隔が設定通りにならない場合があります。

記録ファイルを削除する

SD メモリーカードに記録した画像のファイルを削除できます。

1 管理者設定メニューで「カメラ設定」をクリックする

・カメラ設定のサブメニューが表示されます。

2 サブメニューの中の「記録」をクリックする

・カメラ／記録の設定画面が表示されます。

3 「記録ファイルの削除」の「すべて削除」／「アラームリストを表示して削除」／「ノーマルリストを表示して削除」／「外部制御記録リストを表示して削除」のどれかをクリックする

・「すべて削除」をクリックすると、すべての記録ファイルを削除します。

・「アラームリストを表示して削除」をクリックすると、アラームリストを表示し、削除範囲を指定してアラーム記録のファイルを削除できます。

・「ノーマルリストを表示して削除」をクリックすると、ノーマルリストを表示し、削除範囲を指定してノーマル記録のファイルを削除できます。

・「外部制御のリストを表示して削除」をクリックすると、外部制御記録リストを表示し、削除範囲を指定して外部制御記録のファイルを削除できます。

FTP サーバに画像を記録する

FTP サーバを使うことによって、大容量で定期的な画像の転送・保存管理が可能になります。FTPサーバに記録できる画像は「スケジュールによる記録データ」、「アラームによる記録データ」、または「外部制御による記録データ」です。

記録設定

1 管理者設定メニューで「カメラ設定」をクリックする

- カメラ設定のサブメニューが表示されます。
- 管理者ログインしていない場合は管理者メニューが表示されないため、管理者ログインをしてください。

2 サブメニューの中の「FTP 記録」をクリックする

- カメラ／ FTP 記録の設定画面が表示されます。

3 各項目を設定する

・各項目の設定のしかたは、手順４の説明の次をご覧ください。

4 各項目を設定したら、項目の下にある「保存」ボタンをクリックする

・変更内容が保存されます。
・「リセット」ボタンをクリックすると、最後に保存した設定内容に戻ります。
・「工場出荷値へ」ボタンをクリックすると、工場出荷時（お買い上げ時）の値に戻ります。

■ FTP記録条件

「スケジュール記録」、「アラーム記録」、「外部制御による記録」から一つ選んでチェックします。「アラーム記録」を選んだ場合はさらに「外部アラーム」、「モーション検出」の両方または一つにチェックしてください。

■ FTPサーバ設定　ー第１サーバー

FTPサーバに接続するための設定をします。

● FTPサーバ

サーバ名またはアドレスを正しく入力してください。

● ログインID

サーバへのアクセス権限を取得しているユーザーに限ります。

詳しくはFTPサーバのシステム管理者にお問い合わせください。

● パスワード

上記ログインIDで登録したパスワードを入力してください。

● パスワード（確認）

もう一度同じパスワードを入力してください。

● FTPポート番号

通常は「21」を入力してください。（半角）

お願い

- 記録を契約しているプロバイダ、またはネットワーク管理窓口からの指示がない限り、**ポート番号は絶対に変更しないでください。**

● FTPモード

PORT（アクティブモード）：通常はこちらを選んでください。

PASV（パッシブモード）：FTPモードがPORT（アクティブモード）ではカメラのネットワーク環境がFirewallなどで防御されている場合、外側のFTPサーバからのアクセスができないことがあります。この場合はPASV（パッシブモード）を選んでください。

FTP サーバに画像を記録する（つづき）

● FTP 接続方法

・スケジュールによる記録など、転送の頻度が多いデータの場合、「接続維持」を選んでください。高速に記録が行えます。

・転送の頻度が比較的少ないデータの場合、「再接続」を選んでください。ファイル 1 枚単位で、送信のたびにログイン／ログアウトの処理が行われます。

お知らせ

- スケジュールおよび外部制御による記録の場合、スケジュール開始前にサーバに自動ログインを行うことがあります。スケジュール終了となっても内部的に転送しきれていない画像データがある場合、それらの画像データをFTPサーバへすべて転送するため、FTPサーバからの自動ログアウトは必ずしもスケジュールの終了時間とは一致しません。
- アラームおよび外部制御による記録の場合、「接続維持」を選んでも、アラーム入力のたびにログイン／ログアウトを行います。アラームが重複した場合（転送中に他のアラームを受け付けた場合）には、最後のアラームの画像データを転送したあとにログアウトを行います。
- FTP 接続方法に「接続維持」を設定した場合に、記録周期間隔（→ 43、45、47 ページ）がFTPサーバの接続タイムアウトより長く設定されていると、サーバ側から接続が切断されファイルの転送を行うことができません。

■ FTP サーバ設定　ー第 2 サーバー

二つのサーバを使い分けたい場合は、二つ目のサーバの設定を入力してください。

■ 転送画像サイズ

FTP サーバに転送する画像サイズを設定できます。

お知らせ

- 転送画像サイズがカメラ設定の基本設定にある配信画像サイズと異なる場合、フレームレートが下がります。

■ FTP サーバの使い分け

OFF：FTP サーバの使い分けをしません。（常に第 1 サーバに記録します。）

通信障害のとき FTP サーバを使い分ける： 以下のどれかを選んでください。

通常は第 1 サーバに記録する

第 1 サーバで障害が発生した場合第 2 サーバに記録する

通常は第 2 サーバに記録する

第 2 サーバで障害が発生した場合第 1 サーバに記録する

■スケジュールによる記録
(FTP記録条件で「スケジュール記録」を選んだ場合に表示されます。)

スケジュールによる記録をしたい場合に設定してください。

スケジュールによる記録

以下の設定はスケジュール記録を「ON」にしている場合に有効となります。

曜日	スケジュール設定			
	OFF	終日	パターン1	パターン2
月	○	○	○	○
火	○	○	○	○
水	○	○	○	○
木	○	○	○	○
金	○	○	○	○
土	○	○	○	○
日	○	○	○	○
パターン1	開始: 8 時 ～ 終了: 17 時			
パターン2	開始: 8 時 ～ 終了: 17 時			
記録周期間隔	1 秒			
記録ファイル名	LV yyyymmddHHMMSS***N.JPG			
サーバパス	第1サーバ: 第2サーバ:			

1) 記録スケジュールを設定する

・各曜日の記録内容のいずれかにチェックを入れてください。
「OFF」:記録はしません。
「終日」:終日記録します。
「パターン1」:「パターン1」で設定した開始時刻と終了時刻の間で記録します。
「パターン2」:「パターン2」で設定した開始時刻と終了時刻の間で記録します。

2) パターンを設定する

・「パターン1」、「パターン2」の2種類を設定し、使い分けることができます。
開始時刻、終了時刻とも0時～23時の範囲で設定できます。

3) 記録周期間隔を設定する

・設定した時間(秒)に1枚の割合で記録します。
・設定する時間を選んでください。
1, 2, 3, 5, 10, 30, 60, 120, 180秒
・設定内容は「終日」、「パターン1」、「パターン2」に反映されます。

お知らせ

● 画像サイズや回線状態などによって、変動する場合があります。

FTP サーバに画像を記録する（つづき）

4）記録ファイル名を設定する

・以下の（keyword）部分に該当する文字を半角英数・記号で入力してください。

（例）

LV (keyword) yyyy mm dd HH MM SS ***N.JPG のように表示されます。

お知らせ

- 次の文字は入力できません。
  ¥ / : ; , ” | ? * < >

それぞれの意味は以下のとおりです。

LV	スケジュールによる記録で記録されたファイルであることを示します。
(keyword)	ユーザー定義のキーワードを半角英数字で入力してください。
yyyymmdd	年月日を示します。（例；2004年1月1日 → 20040101）
HHMMSS	時分秒を示します。（例：23時59分00秒 → 235900）
***	もしも同じときに複数の画像を記録した場合、3桁の数字で順番を示します。数字が大きいほど画像は新しくなります。
N	固定表示です。

5）サーバパスを入力する

・ファイルを記録するサーバのパスを設定します。不明の場合は、FTPサーバ管理者にお問い合わせください。

■アラームによる記録
(FTP 記録条件で「アラーム記録」を選んだ場合に表示されます。)

外部アラーム／モーション検出による記録をしたい場合に設定してください。

・外部アラームまたはモーション検出をするには、アラーム設定 (→59ページ) で、「外部アラーム」または「モーションセンサー」が有効になるように設定してください。

1) プリ画像の記録枚数を設定する

・枚数を選んでください。
0, 3, 5, 10 枚

2) ポスト画像の記録枚数を設定する

・枚数を選んでください。
0, 3, 5, 10, 20 枚

お知らせ

● 回線状況や記録周期などによって、記録枚数が減少する場合があります。

3) 記録周期間隔を設定する

・設定した時間（秒）に1枚の割合で記録します。

・設定する時間を選んでください。
1, 2, 3, 5, 10, 30, 60, 120, 180 秒

お知らせ

● 画像サイズや回線状況などによって変動する場合があります。

FTP サーバに画像を記録する（つづき）

4）記録ファイル名を入力する

・以下の（keyword）部分に該当する文字を半角英数・記号で入力してください。

（例）EX (keyword) yyyy mm dd HH MM SS ***--A.JPG
のように表示されます。

お知らせ

- 次の文字は入力できません。
  ¥ / : ; , ” ｜? * < >

それぞれの意味は以下のとおりです。

EX/MD	先頭に「EX」と表示されている場合は、外部アラーム検出時のファイルであることを示します。 先頭に「MD」と表示されている場合は、モーション検出時のファイルであることを示します。
(keyword)	ユーザー定義のキーワードを半角英数字で入力してください。
yyyymmdd	年月日を示します。（例：2004年1月1日 → 20040101）
HHMMSS	時分秒を示します。（例：23時59分00秒 → 235900）
***	もしも同じときに複数の画像を記録した場合、3桁の数字で順番を示します。数字が大きいほど画像は新しくなります。
--	アラーム発生順の件数積算値です。 件数が99をこえると、00にリセットされ、そこからまた新たに加算されていきます。電源が切れた場合も00にリセットされます。
A/B/C	A：プリ画像を示します。 B：アラームが発生した瞬間の画像を示します。 C：ポスト画像を示します。

5）サーバパスを入力する

・ファイルを記録するサーバのパスを設定します。不明の場合はFTPサーバ管理者にお問い合わせください。

■外部制御による記録 (FTP記録条件で「外部制御による記録」を選んだ場合に表示されます。)

外部制御による記録をしたい場合に設定してください。

・アラーム設定（→59ページ）で、「EXTコントロール」が有効になるように設定してください。

1) 記録周期間隔を設定する

・設定した時間（秒）に1枚の割合で記録します。

・設定する時間を選んでください。
　1, 2, 3, 5, 10, 30, 60, 120, 180秒

お知らせ

● 画像サイズや回線状況などによって変動する場合があります。

2) 記録ファイル名を入力する

・以下の（keyword）部分に該当する文字を、半角英数・記号で入力してください。

（例）　EC (keyword) yyyy mm dd HH MM SS ***N.JPG
　　　のように表示されます。

お知らせ

● 次の文字は入力できません。
　￥ / : ; , ”　| ? *　< >

それぞれの意味は以下のとおりです。

EC	外部制御による記録で記録されたファイルであることを示します。
(keyword)	ユーザー定義のキーワードを半角英数字で入力してください。
yyyymmdd	年月日を示します。（例；2004年1月1日 → 20040101）
HHMMSS	時分秒を示します。（例：23時59分00秒 → 235900）
***	もしも同じときに複数の画像を記録した場合、3桁の数字で順番を示します。数字が大きいほど画像は新しくなります。
N	固定表示です。

3) サーバパスを入力する

・ファイルを記録するサーバのパスを設定します。不明の場合はFTPサーバ管理者にお問い合わせください。

FTP サーバに画像を記録する（つづき）

■蓄積

回線断、サーバダウンなどの障害によってサーバに画像を記録できなかった場合、SD メモリーカードに画像を蓄積しておくかどうかを設定します。蓄積されたものは、回線が復活するなどしたときに、FTP サーバに転送されます。

蓄積	
機能 ON/OFF	○ON ◎OFF
蓄積周期	60 秒
オーバーライト	○ON ◎OFF

1）蓄積の機能の ON/OFF を設定する

・SD メモリーカードに画像を蓄積する場合「ON」を、しない場合は「OFF」を選んでください。

2）蓄積周期を設定する

・蓄積される画像の記録周期間隔（単位：秒）を設定します。

・設定する時間を選んでください。
1, 2, 5, 10, 30, 60, 120, 300, 600, 900, 1800, 3600 秒

3）オーバーライトを設定する

SD メモリーカードの蓄積領域が一杯になった場合、オーバーライト（上書き）するかどうかを設定します。

ON ：古い蓄積画像から上書きします。

OFF：新しい画像は破棄されます。

お知らせ

- 「機能 ON/OFF」を「ON」に設定してから「蓄積周期」と「オーバーライト」の設定を行ってください。
- アラームによる記録の場合は、「アラームによる記録」の設定の記録周期間隔（→45 ページ）で記録されます。
- オーバーライト（上書きモード）を「ON」に設定した場合、古いファイルから削除されます。たいせつなデータがある場合は「OFF」に設定してください。
- SDメモリーカード内に蓄積ファイルが存在する状態で設定を変更しないでください。SDメモリーカード内に蓄積ファイルが存在する状態で設定を変更すると、蓄積されたファイルのファイル名、サーバパスは、現在の記録条件の設定が適用されます。

ファイルの転送順序（スケジュールによる記録の場合）

基本的に、記録された時間の順序どおりに転送されますが、回線の状態によっては以下のような処理をすることがあります。

1) 回線状態によって転送に遅延が生じた場合、転送サイクルの合間に送れなかった古いファイルを転送することがあります。
2) 転送スケジュール終了時刻に達しても送りきれなかったファイルがある場合は、スケジュール終了後もファイル転送を最後まで行います。

お知らせ

- ネットワークやFTPサーバの状態によってファイルを転送できない場合があります。その場合、SD メモリーカード内にデータのバックアップを取ることが可能です。「カメラ設定」の「FTP 記録」の「蓄積」（→ 48 ページ）を設定してください。この場合、上記の項目 2）の要領で FTP サーバに転送されます。

パソコンに画像を記録する

パソコンに画像（JPEG ファイル）を記録できます。

パソコンに 1 ショット画像を記録する

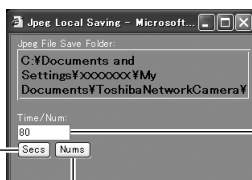
1 カメラ画像画面の操作ボタンの [カメラ] ボタンをクリックする

・パソコン上に JPEG ファイルとして表示されます。

2 画面上で右クリックし、「名前を付けて画像を保存」を選び、パソコンに保存する

パソコンに画像を記録する

1 カメラ画像画面の操作ボタンの [保存] ボタンをクリックする

・Jpeg Local Saving の設定画面が表示されます。

2 記録する秒数またはファイル数を設定し、「Secs」ボタンまたは「Nums」ボタンをクリックする

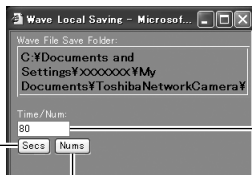
お知らせ

- 記録ファイルは、マイドキュメントの中の「ToshibaNetworkCamera」フォルダの中に保存されます。
- 秒数指定の場合の記録枚数、ファイル数指定の場合の記録周期間隔は、設定したフレームレート（→ 72 ページ）によります。ただし、フレームレートは、回線の状況により、下がることがあります。
- 秒数指定の場合の最大記録秒数は 3600 秒で、ファイル数指定の場合の最大記録ファイル数は 1000 枚です。

パソコンに音声を記録する

パソコンに音声（wav ファイル）を記録できます。

1 カメラ画像画面の操作ボタンの ボタンをクリックする

・Wave Local Saving の設定画面が表示されます。

2 記録する秒数またはファイル数を設定し、「Secs」ボタンまたは「Nums」ボタンをクリックする

お知らせ

- カメラ画像画面が音声出力モード（ ボタンの表示）になっていないと記録できません。
- 記録ファイルは、マイドキュメントの中の「ToshibaNetworkCamera」フォルダの中に保存されます。
- 1 秒間 1 ファイルとして記録します。

はじめに
見る・聞く・操作する
記録する
設定する
その他

設定のしかた

ネットワークカメラに対するすべての設定は、管理者だけができます。管理者設定メニューの画面の左側のメニューをクリックすることによって、設定項目が選択できます。

一般的な設定方法

1 管理者設定メニューで「カメラ設定」／「ネットワーク設定」／「セキュリティ設定」／「マルチ画面設定」／「管理者機能」／「ログ管理」のどれかをクリックする

・クリックした設定のサブメニューが表示されます。
・管理者ログインしていない場合はメニューが表示されないため、管理者ログインをしてください。

2 サブメニューの中から設定したい項目をクリックする

・画面右にクリックした項目の設定画面が表示されます。

3 各項目を設定する

・設定を反映させるには、項目の下にある「保存」ボタンをクリックしてください。
・「リセット」ボタンをクリックすると、最後に保存した設定内容に戻ります。
・「工場出荷値へ」ボタンをクリックすると、工場出荷時（お買い上げ時）の設定値に戻ります。

お知らせ

- 「カメラ設定」の「記録」、「FTP記録」の設定については、「設定する」の章でなく、「記録する」の章（→ 36 ページ）をご覧ください。
- 「管理者機能」の「構成情報」の設定画面上の「工場出荷値へ」ボタンをクリックすると、すべての設定値が工場出荷値時（お買い上げ時）の値に戻せます。
- ネットワークカメラの文字（フォント）は、すべて EUC 日本語を使用していますが、Windows Internet Explorer を使用してネットワークカメラの設定画面にカナ・漢字を入力したい場合、そのまま入力することができます。日本語の変換など行なう必要はありません。
  ただし、管理者機能／構成情報（→82ページ）のエクスポートで出力されたiniファイルの内容は、日本語入力情報の場合、EUC日本語で出力されていますので、EUCに対応したエディタで参照することを推奨します。また、iniファイルに日本語を入力したiniファイルをインポートする場合、その日本語はあらかじめEUCに変換されている必要があります。

カメラ／基本設定

カメラの配信画像サイズ、クオリティなどの基本的な設定ができます。

1 管理者設定メニューで「カメラ設定」をクリックする

・カメラ設定のサブメニューが表示されます。

2 サブメニューの中の「基本設定」をクリックする

・カメラ／基本設定の設定画面が表示されます。

3 各項目を設定する

・設定が終わったら項目の下の「保存」ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- 本設定項目は、セキュリティ／ユーザー操作の許可設定（→ 74 ページ）で設定項目を有効に設定すれば、利用者ログインでも設定することができます。

● 配信画像サイズ

配信画像のサイズを設定します。サイズが大きいほど解像度が高くなります。

設定： 1260 × 960（SXVGA）／640 × 480（VGA）／320 × 240（QVGA）／160 × 120（QQVGA）

カメラ／基本設定（つづき）

● クオリティ

配信画像の画質を設定します。画質に応じて画像ファイル（JPEG ファイル）のサイズが変わります。

高　：標準の設定より画質は良くなります。ファイルサイズは大きくなります。

標準：標準の設定です。

低　：標準の設定より画質は低下します。ファイルサイズは小さくなります。

お知らせ

- 画質とファイルサイズは被写体の状況（明るさ、解像度、動き）によって変わります。
- ファイルサイズが小さいほど、ネットワークに与える負荷の影響が小さくなり、結果としてモニタリングの画像の更新速度が早くなる可能性があります。

● 明るさ調整

カメラが自動で制御する映像の明るさのレベルを調整します。被写体の条件によって映像レベルが最適となるように調整してください。数値は -99 から 99 の範囲で調整できます。数値を大きくすると映像は明るくなり、小さくすると映像は暗くなります。

お知らせ

- 自動絞りレンズ（DC）、AES、AGC、スローシャッターで自動的に制御する映像の明るさのレベルを調整します。

● 自動 B/W

自動 B/W の機能を設定します。自動 B/W とは、被写体が暗くなった場合に自動的に白黒映像（B/W）に切り換えてさらに感度アップする機能です。白黒映像になると多少ノイズが増えることがあります。

ON　：自動 B/W 機能が動作します。

OFF：自動 B/W 機能は動作しません。

● ホワイトバランス（WB）

ホワイトバランスを設定します。正しい色調の映像を得るためには、ホワイトバランスの調整が必要です。本カメラは自動（AWB）／固定（室内、屋外）／ホールド／マニュアルのいずれかのホワイトバランスのモードが選択可能です。自動モードではカメラが自動的にホワイトバランスを合わせます。

自動の動作色温度範囲は、AWBの制御範囲が標準のときに約2500Kから約7000K、ワイドのときに約2200Kから約9000Kです。ほとんどの状況では自動で合わせることができますが、暗い被写体、白っぽいものがない被写体ではうまく合わせることができない場合があります。その場合は固定、マニュアルモードで合わせてください。

動作モード	概要	特徴	備考
自動（AWB）	カメラが自動的に色温度を測定し、ホワイトバランスを合わせます。	色温度の変化に自動追尾してカメラがホワイトバランスを合わせます。	動作色温度範囲はAWBの制御範囲で変わります。
室内（電球色）	白熱電球の照明下でホワイトバランスを最適に合わせます。	照明の条件が一定の環境で有効です。	色温度が約3000Kで最適なホワイトバランスとなります。
室内（蛍光灯）	蛍光灯の照明下でホワイトバランスを最適に合わせます	照明の条件が一定の環境で有効です。	色温度が約4000Kで最適なホワイトバランスとなります。
屋外（太陽光）	屋外からの太陽光でホワイトバランスを最適に合わせます	電灯照明を使わない場合に有効です。	色温度が約5200Kで最適なホワイトバランスとなります。
ホールド	現在のホワイトバランスを保持します。	現在の状態で固定したい場合に有効です。	
マニュアル	白い被写体を写しながらR（赤）、B（青）のレベルを手動で調整します。	被写体に合わせて人為的に設定するため精度が高く、色温度の変化の少ない環境では有効です。	モニターまたはベクトルスコープで確認しながら調整をします。

お知らせ

- 十分な照明が得られず被写体が暗い状態では、自動モードは誤動作する場合があります。その場合はカメラの感度設定（AGC、スローシャッターの上限値）を大きくするか、ホワイトバランスを固定モードでお使いください。
- 蛍光灯の種類によっては室内（蛍光灯）であってもホワイトバランスが最適にならない場合があります。その場合は他の設定に変更してみてください。
- ナトリウム灯下では自動モードで最適なホワイトバランスが得られない場合があります。その場合はAWBの制御範囲の設定をワイドにするか、マニュアルモードで設定してください。設定方法については「AWBの制御範囲」を参照してください。

カメラ／基本設定（つづき）

● WB マニュアル GAIN - R、WB マニュアル GAIN - B

ホワイトバランスのマニュアルモードのゲインを設定します。R ゲイン、B ゲインを操作してホワイトバランスを合わせてください。

数値を大きくすると設定ゲインは大きく､小さくすると設定ゲインが小さくなります。

● AWB のオフセット Ye/Cy 方向、AWB のオフセット Mg/G 方向

ホワイトバランスのオフセットを設定します｡ホワイトバランスが自動モードの場合、ホワイトバランスの収束点を所定の色方向にオフセットをつけ、好みの色調を得ることができます。

Ye/Cy 方向 ：数値をプラス側に大きくすると黄色側へ､マイナス側に大きくするとシアン側へ収束点がシフトします。

Mg/G 方向 ：数値をプラス側に大きくするとマゼンタ側へ､マイナス側に大きくすると緑側へ収束点がシフトします。

● AWB の制御範囲

ホワイトバランスの自動モードの制御範囲を設定します。

標準 ：動作色温度範囲は約 2500K から約 7000K になります。

ワイド：動作色温度範囲は約 2200K から約 9000K になります。

お知らせ

- ワイドの設定は引込範囲を広くするため、色の付いた物を白く引き込み、結果として映像の色合いが不自然になる場合があります。

● AGC(最大値)

オートゲインコントロール回路の動作ゲインの最大値を設定します。工場出荷設定は標準ですが､被写体が暗くてカメラの感度が不足する場合は最大に設定してください。

｢OFF｣、｢標準｣、｢最大｣ の順でカメラの感度は大きくなりますが、AGC ゲインが最大付近ではノイズも増加します。良い画質を得るためには照明を使用することをお勧めします。

お知らせ

- AGC を設定しても感度が不足する場合は、スローシャッターの上限値、自動 B/W 機能を設定するとさらに感度をアップすることができます。

● スローシャッターの上限値

スローシャッターの上限値を設定します｡カメラの感度は被写体の明るさに応じて､×1 から設定した上限値の間で最適な映像レベルに保ちます。上限値を大きくするとカメラの感度が OFF（X1）に対して表示倍率分大きくなります。

お知らせ

- スローシャッターの上限値を X1 以外に設定すると、被写体が暗くなるに従い設定した上限値（倍率）までカメラは自動的に感度アップします。感度アップした状態では撮像素子の露光時間が長くなる（スローシャッター）ため、映像を更新する速度が遅く（コマ数が少なく）なります。また、動きのある被写体では残像が目立つ場合があります。

● IRIS 制御

アイリス制御を設定します。使用するレンズのタイプに設定してください。

DC　：自動絞りレンズを使用する場合の設定です。
AES：固定絞りレンズを使用する場合の設定です。カメラは AES（オート電子シャッター）制御で動作します。

お願い

- 自動絞りレンズを使用する場合には、誤動作の原因となりますので「AES」設定で使わないでください。

● フリッカー補正

50Hz 地域で発生する蛍光灯フリッカーを防止する機能を設定します。

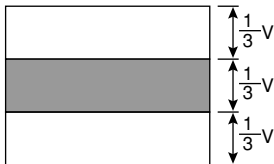
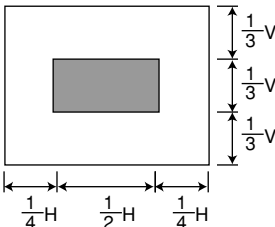
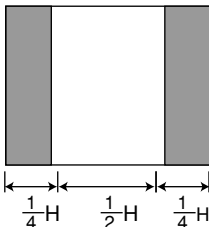
ON　：フリッカー補正が動作します。シャッターは 1/33s に固定されます。
OFF：フリッカー補正は動作しません。

お知らせ

- スローシャッターが動作した状態では機能しません。
- IRIS 制御を「AES」に設定した場合は機能しません。

● 逆光補正

逆行補正のエリアを設定します。逆光補正とは、選択したエリア内の明るさを最適な映像レベルにする機能です。見たい部分以外に強い光がはいり、自動絞りレンズの絞りが閉じぎみで動作することで見たい部分が暗くなって見えにくくなる場合に有効です。そのような場合、見たい部分が選択エリアの中にはいるようにエリアを設定してください。

エリアの大きさはほぼ次のとおりです。
（塗りつぶしてある部分の映像レベルを適正に保ちます。）
OFF のときは逆光補正を行いません。

⑦自動
被写体の状況によって①～⑥のエリアを組み合わせて制御します。

お知らせ

- 自動モードは画面の暗い部分をカメラが自動的に判断し、その部分の明るさが最適となるように制御します。そのため、明るい部分の映像の一部が白飛びすることがあります。

● シャープネス（DTL）

画像の輪郭補正を設定します。輪郭をもっとくっきりさせたい場合は「強」を、もっとやわらかくさせたい場合は「弱」を選びます。

強　：輪郭がシャープになります。

標準：標準の設定です。

弱　：輪郭がソフトになります。

● 色差 GAIN R-Y、色差 GAIN B-Y

色差ゲインを設定します。数値を大きくするとゲインが大きくなり、小さくするとゲインが小さくなります。

色差 GAIN R-Y：R-Y 軸の色ゲインを設定します。

色差 GAIN B-Y：B-Y 軸の色ゲインを設定します。

● ノイズリダクション

ノイズリダクションの効果を設定します。「OFF」、「弱」、「強」の順でノイズ低減効果が大きくなります。

強　：ノイズリダクションを強く動作させます。

弱　：ノイズリダクションを弱く動作させます。

OFF：標準の設定です。

お知らせ

- 設定を「弱」、「強」にするとノイズ低減効果は大きくなりますが、動きのある被写体を写した場合に残像が目立つことがあります。

カメラ／アラーム設定

外部アラームの設定とモーションセンサーの設定ができます。アラーム入力端子（→85ページ）にセンサーなどを取り付けると、センサーが異常を検出したときなどにアラームを通知させることができます。たとえば、ドアにセンサーを取り付ければ、ドアの開閉時にアラームを通知することができます。また、モーションセンサーが働くように設定すると、画面の変化を検知してアラームを通知します。

1 管理者設定メニューで「カメラ設定」をクリックする

・カメラ設定のサブメニューが表示されます。

2 サブメニューの中の「アラーム設定」をクリックする

・カメラ／アラーム設定の設定画面が表示されます。

3 各項目を設定する

・設定が終わったら項目の下の「保存」ボタンをクリックしてください。

はじめに
見る・聞く・操作する
記録する
設定する
その他

カメラ／アラーム設定（つづき）

● 外部アラーム

1）対応させる「アラーム」を設定します。

外部アラーム　　　：外部アラームの検出を行います。
EXT コントロール ：外部制御を行います。
OFF　　　　　　　：外部アラーム、EXT コントロールを行いません。

2）「アラーム」の設定を「OFF」以外に設定したときには、アラームの「入力タイプ」を設定します。

ノーマルオープン ：無電圧の接点方式で、通常時オープン、アラーム発生時クローズする場合に設定します。
ノーマルクローズ ：無電圧の接点方式で、通常時クローズ、アラーム発生時オープンになる場合に設定します。

お知らせ

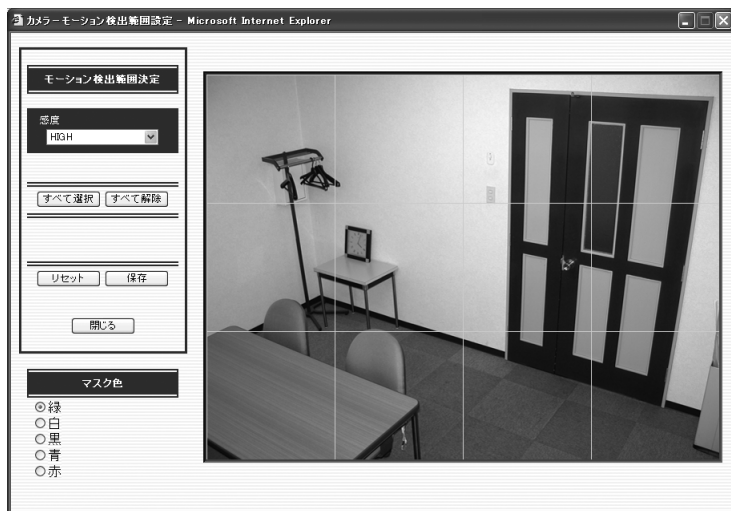
- アラーム記録は制御端子が Hi から Low または Low から Hi に切り換わった時点から、設定した間隔で設定した枚数を記録します。（Low/Hi 期間は 100ms 以上必要です。）
- 外部制御記録は制御端子が Low の期間または Hi 期間の間、設定した間隔で記録します。（1 秒以下は記録できません。）

● モーションセンサー

1）「機能」を設定します。

ON　：モーションセンサーが働きます。（画面の変化を検知してアラームを通知します。）
OFF：モーションセンサーが働きません。

2）モーションセンサーを働かせるには、モーションセンサーの感度と検出範囲を設定する必要があります。

①「ここをクリックすると設定画面が起動します。」をクリックし、範囲設定画面（4X3 のマス目の画面）を表示します。

②「感度」を設定します。

HIGH　：明るさや動きの小さな変化でも検知します。

MIDDLE：HIGH と LOW の中間です。

LOW　：明るさや動きに大きな変化があった場合に検知します。

③ 設定したいマス目をクリックして塗りつぶします。

・取り消す場合は、塗りつぶしたマス目をもう一度クリックしてください。

・「すべて選択」ボタンをクリックするとすべてのマス目を塗りつぶします。

・「すべて解除」ボタンをクリックするとすべてのマス目の塗りつぶしを取り消します。

・「リセット」ボタンをクリックすると、直前の設定内容に戻ります。

④「保存」ボタンをクリックします。

・設定した内容を保存して範囲設定画面が閉じます。

お知らせ

- 「マスク色」の下の色の種類からお好みの色をチェックして、塗りつぶしの色を変更できます。
- 被写体が暗い場合はうまく検出できない場合があります。
- 被写体が暗くAGCゲインが上昇した場合には、ノイズにより誤検出する場合があります。その場合は感度を低く設定してください。

● 出力保持時間

アラームの出力保持時間を設定します。

1, 5, 10, 15, 30, 60（秒）の中から選択します。

この項目は、アラーム出力端子にサイレンやブザー、非常灯などを接続し、動作させるときに使います。

カメラ／音声設定

ネットワークカメラが入力する音声、出力する音声について設定します。

1 管理者設定メニューで「カメラ設定」をクリックする

・カメラ設定のサブメニューが表示されます。

2 サブメニューの中の「音声」をクリックする

・カメラ／音声の設定画面が表示されます。

3 各項目を設定する

・設定が終わったら項目の下の「保存」ボタンをクリックしてください。

● 音声入力

音声入力を設定します。

ON　：カメラが音声入力を行います。

OFF ：カメラが音声入力を行いません。

・カメラに接続したマイクから音声を入力するときは、「ON」に設定します。

● 音声入力レベル

音声入力レベルを設定します。

HIGH　　：音声入力レベルを大きくします。

MIDDLE：音声入力レベルを中くらいにします。

LOW　　：音声入力レベルを小さくします。

● 音声出力

音声出力を設定します。

ON　：カメラが音声出力を行います。

OFF ：カメラが音声出力を行いません。

・ カメラに接続したスピーカーから音声を出力するときは、「ON」に設定します。

● 音声出力レベル

音声出力レベルを設定します。

HIGH　　：音声出力レベルを大きくします。

MIDDLE：音声出力レベルを中くらいにします。

LOW　　：音声出力レベルを小さくします。

ネットワーク／基本設定

ネットワークに接続するための IP アドレスなどの設定をします。

1 管理者設定メニューで「ネットワーク設定」をクリックする

・ネットワーク設定のサブメニューが表示されます。

2 サブメニューの中の「基本設定」をクリックする

・ネットワーク／基本設定の設定画面が表示されます。

3 各項目を設定する

・設定が終わったら項目の下の「保存」ボタンをクリックしてください。

● カメラ名

本カメラのカメラ名を入力します。（半角英数字 18 文字まで）

● DHCP ON/OFF

1）DHCP ON/OFF を設定します。

ON ：IP アドレスを自動的に取得します。

OFF：IP アドレスを自分で設定します。

2）「OFF」を選択した場合は、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」を入力してください。

● カメラの自動検出

カメラの自動検出の ON/OFF を設定します。

本カメラには、同じネットワーク内にあるほかのカメラ（RNCP を搭載しているカメラにかぎります）を自動的に検出し記憶しておく機能があります（マルチ画面機能に役立ちます）。もし、ほかのネットワークカメラが同じネットワークにある場合は、「ON」にしておくことをおすすめします。

● HTTP ポート番号

HTTP ポート番号を入力します。通常は 80 を入力します。

お知らせ

- サブネットマスクが不明な場合、プロバイダなどのネットワークシステム管理窓口にお問い合わせください。
- デフォルトゲートウェイについては、他のネットワークからネットワークカメラを利用しない場合は入力する必要はありませんが、入力が必要な場合は、ネットワークシステム管理窓口にお問い合わせください。
- IPアドレスやHTTPポート番号を変更したあと、ネットワークカメラに再接続する場合には、ブラウザに入力したIPアドレスとHTTPポート番号が変更したものであることを必ず確認してください。
- 「保存」ボタンをクリックすると、「設定内容を有効にするためカメラの再起動を行います。よろしいですか？」と確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、設定した内容が反映されネットワークカメラは自動的に再起動します。IPアドレスなど変更した場合は、ログインしなおしてください。

ネットワーク／メール設定

外部アラーム発生、モーション検出などのときに11件（ただし、管理者メールアドレスを含む）までの送信先にメールを送信することができます。

1 管理者設定メニューで「ネットワーク設定」をクリックする

・ネットワーク設定のサブメニューが表示されます。

2 サブメニューの中の「メール設定」をクリックする

・ネットワーク／メール設定の設定画面が表示されます。

3 各項目を設定する

・設定が終わったら項目の下の「保存」ボタンをクリックしてください。

● 認証設定

1）認証の方式を「通常（simple SMTP)」と「POP（before SMTP)」のどちらかを選択します。

2）「メールサーバ（SMTP)」に、SMTPのIPアドレスまたはサーバ名を入力します。

3）認証で、「POP（before SMTP)」を選択したときは、以下を入力します。

「メールサーバ（POP)」：POP サーバの IP アドレスまたはサーバ名を入力します。

「メール ID」：認証のための ID を入力します。

「パスワード」：パスワードを入力します。

「パスワード（確認)」：もう一度同じパスワードを入力します。

4）「管理者メールアドレス」に管理者のメールアドレスを入力します。

・「メール送信テスト」ボタンをクリックすると、テストとして管理者にメールが送信されます。

お知らせ

- 「メール ID」、「パスワード」、「パスワード（確認)」に使用できる文字は、次の半角文字で、16 文字以下です。.（ドット）－（ハイフン）@ 0-9 a-z A-Z
- 「メールサーバ（SMTP)」、「メールサーバ（POP)」に IP アドレスではなくサーバ名を入力した場合、DNS サーバが正しく入力されている必要があります。（→ 64 ページ「ネットワーク／基本設定」）

● 外部アラームによるメール送信条件設定

1）「外部アラーム入力によるメール送信」の ON/OFF を設定します。

ON ：外部アラーム入力時、メールを送信します。

OFF ：外部アラーム入力時、メールを送信しません。

2）「表題」に送信メールのタイトルを入力します。

3）「メッセージ内容」にメッセージ内容を入力します。

4）「URL 送付」の ON/OFF を設定します。

ON ：サーバアドレス情報をメッセージ内容に付け加えます。

OFF ：サーバアドレス情報をメッセージ内容に付け加えません。

「ON」に設定した場合、ネットワークカメラやFTPサーバなどのアドレス情報を入力します。

5）「画像の添付」に画像の添付の ON/OFF を設定します。

ON ：メールに画像を添付します。

OFF ：メールに画像を添付しません。

6）「画像の添付」を「ON」に設定した場合、下にある「添付画像サイズ」をプルダウンメニューで選択します。

1280 × 960、640 × 480、320 × 240、160 × 120

● モーション検出によるメール送信条件設定

1）「モーション検出によるメール送信」のON/OFFを設定します。

ON　：モーション検出時、メールを送信します。
OFF：モーション検出時、メールを送信しません。

2）「表題」にメールのタイトルを入力します。

3）「メッセージ内容」にメッセージ内容を入力します。

4）「URL送付」のON/OFFを設定します。

ON　：サーバアドレス情報をメッセージ内容に付け加えます。
OFF：サーバアドレス情報をメッセージ内容に付け加えません。

「ON」に設定した場合、ネットワークカメラやFTPサーバなどのアドレス情報を入力します。

5）「画像の添付」に画像の添付のON/OFFを設定します。

ON　：メールに画像を添付します。
OFF：メールに画像を添付しません。

6）「画像の添付」を「ON」に設定した場合、下にある「添付画像サイズ」をプルダウンメニューで選択します。

1280×960、640×480、320×240、160×120

● メール送信先設定

1）「管理者メールアドレスには必ず送信する」の ON/OFF を設定します。

ON　：管理者メールアドレスに必ず送信します。

OFF ：管理者メールアドレスに送信しません。

2）「送信先のメールアドレス」を入力します。（10 件まで）

3）それぞれ、送信する条件にチェックを入れます。

外部アラーム検出　：外部アラーム検出時､入力したメールアドレスに送信します。

モーション検出　　：モーション検出時、入力したメールアドレスに送信します。

お知らせ

- POPはメールボックスからメールを受信する（取り出す）ためのプロトコルですが、ネットワークカメラはメールを取り出しませんので、この設定によって受信メールが消失することはありません。
- ネットワークカメラのメール機能は、「SMTP Auth」には対応していません。
- 添付画像サイズがカメラ設定の基本設定にある配信画像サイズと異なる場合､フレームレートが下がります。
- 管理者メールアドレスに設定したメールアドレスに外部アラーム時またはモーション検出時のどちらか一方のみメールを送信したい場合は､「管理者メールアドレスに必ず送信する」を OFF に設定し、「送信先のメールアドレス」に管理者メールアドレスを加え、送信する条件にチェックを入れてください。

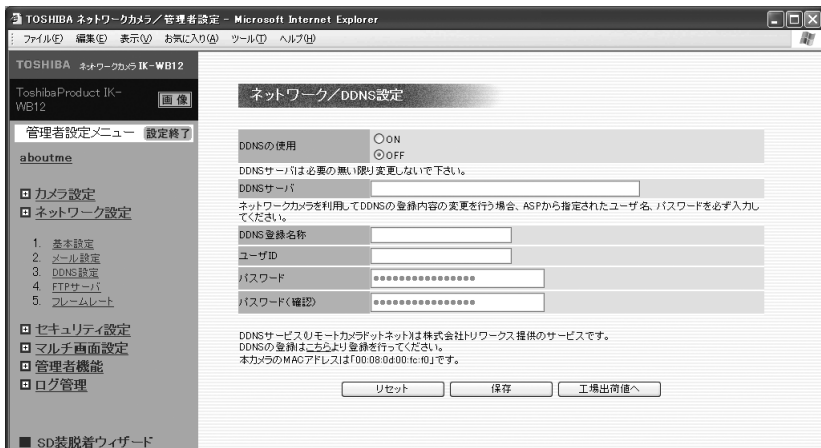
ネットワーク／DDNS 設定

DDNS を使うことができます。DDNS サーバの接続を設定してください。

1 管理者設定メニューで「ネットワーク設定」をクリックする

・ネットワーク設定のサブメニューが表示されます。

2 サブメニューの中の「DDNS 設定」をクリックする

・ネットワーク／DDNS 設定の設定画面が表示されます。

3 各項目を設定する

1）「DDNS の使用」の ON/OFF を設定します。

ON : DDNS を使用します。

OFF: DDNS を使用しません。

2）DDNS を使用する場合は、DDNS 登録サイトから新規登録してください。登録完了後、お客様に登録内容確認メールが届きますので、ASP から指定された「DDNS サーバ」、登録した「DDNS 登録名称」、「ユーザ ID」、「パスワード」を入力してください。「パスワード（確認）」には、もう一度同じパスワードを入力してください。

・設定が終わったら項目の下の「保存」ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- DDNS 登録名称には、半角英数小文字のみ 6 ～ 12 文字を入力してください。
- 「ユーザ ID」、「パスワード」、「パスワード（確認）」に使用できる文字は、次の半角文字で、16 文字以内です。．（ドット）－（ハイフン） @ 0-9 a-z A-Z
- DDNS サーバの入力欄に IP アドレスでなくサーバ名を入力した場合は、DNS サーバが正しく入力されている必要があります。（→64 ページ「ネットワーク／基本設定」）

ネットワーク／FTP サーバ設定

ネットワークカメラをFTP サーバとして設定し、パソコンなどから接続できるようにできます。

1 管理者設定メニューで「ネットワーク設定」をクリックする

・ネットワーク設定のサブメニューが表示されます。

2 サブメニューの中の「FTP サーバ」をクリックする

・ネットワーク／FTP サーバ設定の設定画面が表示されます。

3 各項目を設定する

1）「FTP 機能」の ON/OFF を設定します。

ON　：FTP サーバとして使用します。

OFF ：FTP サーバとして使用しません。

2）「FTP サーバ」として使用する場合、「ログイン名」にユーザー名、「パスワード」に「パスワード」を入力してください。「パスワード（確認）」には、もう一度同じパスワードを入力してください。「最大同時接続数」に最大接続数をプルダウンメニューで選択します。

・設定が終わったら項目の下の「保存」ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- 「ログイン名」、「パスワード」、「パスワード（確認）」に使用できる文字は、次の半角文字で、16 文字以内です。.（ドット）－（ハイフン） @ 0-9 a-z A-Z
- FTPでネットワークカメラにログインしたときに参照できるのはSDメモリカードの内部だけです。したがって、SD メモリーカードが装着されていない状態では、FTP 機能を ON にしてもネットワークカメラへ FTP でログインすることはできません。

ネットワーク／フレームレート設定

ネットワークへ配信する画像データのフレームレート（転送レート）（枚／秒）を設定できます。

1 管理者設定メニューで「ネットワーク設定」をクリックする

・ネットワーク設定のサブメニューが表示されます。

2 サブメニューの中の「フレームレート」をクリックする

・ネットワーク／フレームレートの設定画面が表示されます。

3 項目を設定する

・「フレームレート」をプルダウンメニューで選択します。
30、15、7.5、3、2、1、1/2、1/5、1/10 枚／秒
・設定が終わったら項目の下の「保存」ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- この設定は、1秒間にネットワークカメラが配信するJPEGの画像枚数を設定します。利用されているネットワーク回線、配信しようとしているJPEG画像のサイズに応じて設定してください。
- 1/2 では 2 秒に一枚、1/5 では 5 秒に一枚、1/10 では 10 秒に一枚の画像を配信します。
- 画像サイズや回線の状況によって、設定したフレームレートよりも少ない枚数となることがあります。

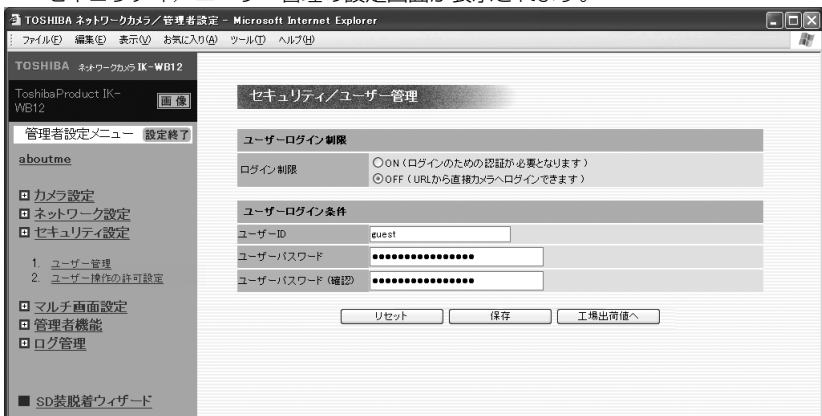
セキュリティ／ユーザー管理

利用者のログイン制限を設定することができます。

1 管理者設定メニューで「セキュリティ設定」をクリックする

・セキュリティ設定のサブメニューが表示されます。

2 サブメニューの中の「ユーザー管理」をクリックする

・セキュリティ／ユーザー管理の設定画面が表示されます。

3 各項目を設定する

・設定が終わったら項目の下の「保存」ボタンをクリックしてください。

● ユーザーログイン制限

「ログイン制限」の ON/OFF を設定します。

ON ：ログイン時、認証のためのユーザー ID とパスワードを要求されるようになります。

OFF ：認証の必要なしにログインできます。

●「ユーザーログイン条件」

本カメラにログインできる利用者のユーザー ID、パスワードを設定します。

「ユーザー ID」 ：認証のための ID を入力します。
「ユーザーパスワード」 ：認証のためのパスワードを入力します。
「ユーザーパスワード（確認）」：もう一度同じパスワードを入力します。

お知らせ

- 「ユーザー ID」、「ユーザーパスワード」、「ユーザーパスワード（確認）」に使用できる文字は、次の半角文字で、16 文字以内です。.（ドット）－（ハイフン） @ 0-9 a-z A-Z
- お買い上げの状態では、利用者ログイン（http://192.168.0.30/）には、ログイン制限がかかっていません。ご利用形態に合わせて、ログイン制限を ON に設定しなおしてください。
- 「保存」ボタンをクリックすると、「設定内容を有効にするためにカメラの再起動を行います。よろしいですか？」と確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、設定した内容が反映されネットワークカメラは自動的に再起動します。

セキュリティ／ユーザー 操作の許可設定

いくつかの設定項目や操作を利用者でも行えるようにできます。

1 管理者設定メニューで「セキュリティ設定」をクリックする

・セキュリティ設定のサブメニューが表示されます。

2 サブメニューの中の「ユーザー操作の許可設定」をクリックする

・セキュリティ／ユーザー操作の許可設定の設定画面が表示されます。

3 「ユーザー操作の許可」を「する」にする

4 各項目を設定する

カメラ／基本設定（→53ページ）の各設定項目を利用者でも行えるようにするかしないかを設定します。

有効にチェック：利用者も行えます。
無効にチェック：利用者は行えません。

・設定が終わったら項目の下の「保存」ボタンをクリックしてください。

マルチ画面／カメラの追加と削除

マルチ画面で表示させせることのできるカメラを追加できます。

1 管理者設定メニューで「マルチ画面設定」をクリックする

・マルチ画面設定のサブメニューが表示されます。

2 サブメニューの中の「カメラの追加と削除」をクリックする

・マルチスクリーン･ディスプレイ／カメラの追加と削除の設定画面が表示されます。

3 各項目を設定する

・マルチ画面で表示するカメラの「カメラ情報」、「カメラへのアクセス」、「HTTPポート番号」、「機種」を入力し、登録します。20台まで登録できます。
自カメラをマルチ画面で表示する場合も、自カメラの情報を登録してください。

カメラ情報	：	カメラの名前を入力します。
カメラへのアクセス	：	カメラのIPアドレスを入力します。
HTTPポート番号	：	HTTPポート番号を入力します。通常は80を入力します。
機種	：	機種名IK-WB以降の番号を入力します。（IK-WB12の場合は「12」）

・設定が終わったら項目の下の「保存」ボタンをクリックしてください。

・次に「マルチ画面設定／カメラの選択」（77ページ）で、マルチ画面に実際に表示させるカメラを設定してください。

お知らせ

- インターネットでカメラを見る場合は、すべてのカメラにドメイン名またはグローバルIPアドレスを登録してください。
- 「マルチ画面設定／カメラの選択」（→ 77 ページ）で、マルチ画面を表示できないようにも設定できます。

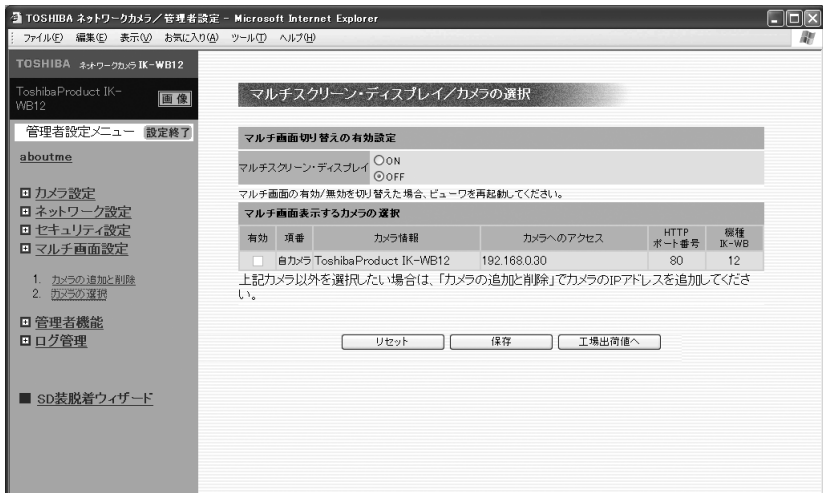
マルチ画面／カメラの選択

見ることのできるカメラを追加できます。

1 管理者設定メニューで「マルチ画面設定」をクリックする

・マルチ画面設定のサブメニューが表示されます。

2 サブメニューの中の「カメラの選択」をクリックする

・マルチスクリーン・ディスプレイ／カメラの選択の設定画面が表示されます。

3 各項目を設定する

・設定が終わったら項目の下の「保存」ボタンをクリックしてください。

● マルチ画面切り替えの有効設定

1）マルチスクリーン・ディスプレイのON/OFFを設定します。

ON　:「マルチ画面」ボタンをクリックすると、マルチ画面が表示できます。

OFF　:「マルチ画面」ボタンをクリックしても、マルチ画面は表示されません。

● マルチ画面表示するカメラの選択

「マルチ画面／カメラの追加と削除」で設定したカメラが表示されています。実際にマルチ画面で表示させるカメラにチェックを入れます。

管理者機能／管理者ID・パスワード変更

管理者ログイン名とパスワードを設定できます。

1 管理者設定メニューで「管理者機能」をクリックする

・管理者機能のサブメニューが表示されます。

2 サブメニューの中の「ID・パスワード変更」をクリックする

・管理者機能／ID・パスワード変更の設定画面が表示されます。

3 各項目を設定する

・管理者として、本カメラにログインするための管理者ID、管理者パスワードを設定（変更）します。

管理者ID　：認証のためのID（管理者ログイン名）を入力します。
管理者パスワード　：パスワードを入力します。
管理者パスワード（確認）：もう一度同じパスワードを入力します。

・設定が終わったら項目の下の「保存」ボタンをクリックしてください。

お知らせ

- 「管理者ID」、「管理者パスワード」、「管理者パスワード（確認）」に使用できる文字は、次の半角文字のみで、16文字以下です。.（ドット）－（ハイフン）　@　0-9　a-z　A-Z
- 「保存」ボタンをクリックすると、「設定内容を有効にするためにカメラの再起動を行います。よろしいですか？」と確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、設定した内容が反映されネットワークカメラは自動的に再起動します。

管理者機能／日付と時間

管理者ログイン名とパスワードを設定できます。

1 管理者設定メニューで「管理者機能」をクリックする

・管理者機能のサブメニューが表示されます。

2 サブメニューの中の「日付と時間」をクリックする

・管理者機能／日付と時間の設定画面が表示されます。

3 各項目を設定する

● 手入力時間設定

カメラの日付と時間を手入力で設定できます。

「手入力日時設定」に日付と時間を入力します。

・設定が終わったら項目の下の「保存」ボタンをクリックしてください。

● NTP サーバによる日時設定

NTP サーバを使って時刻を合わせることができます。

1)「NTP 日時設定」の ON/OFF を設定します。

ON　：NTP サーバを使って時刻を合わせます。

OFF　：NTP サーバを使って時刻を合わせません。

2)「NTP サーバ」に NTP サーバのホスト名を入力します。

3)「時刻合わせ周期」に時刻合わせをする周期をプルダウンメニューで選択します。

カメラ起動時と24時間周期／カメラ起動時と12時間周期／カメラ起動時と6時間周期／カメラ起動時と 1 時間周期

4)「NTP 時刻合わせテスト」の横の「テスト」をクリックすると、NTP サーバによる時刻合わせのテストをします。

・設定が終わったら項目の下の「保存」ボタンをクリックしてください。

バージョンアップのしかた（管理者機能／FW アップデート）

カメラのファームウェアをバージョンアップできます。

・バージョンアップをすると、IP アドレス以外の設定内容が初期化されますので、必ずバージョンアップ前にカメラの設定内容を保存しておいてください。(→82 ページ)
・バージョンアップが終わったら、パソコンに保存した設定内容を取り込んでください。（→ 82 ページ）

■はじめに

最新のファームウェアをダウンロードします。

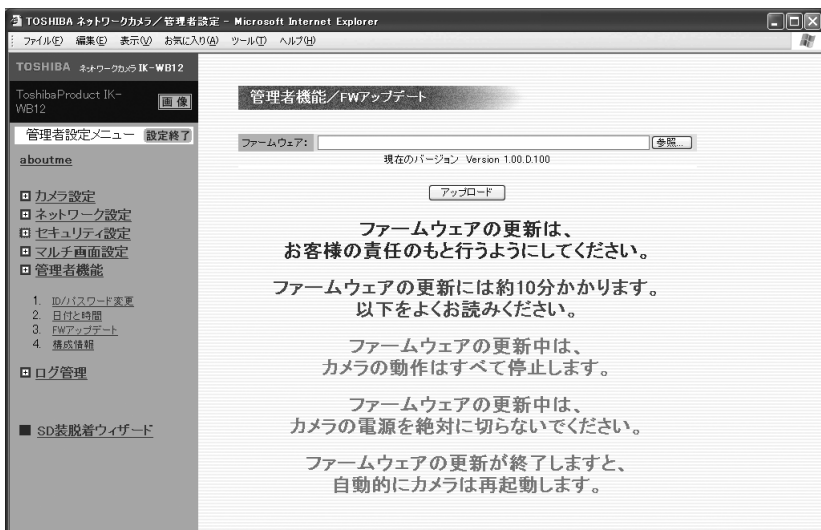
● 最新のファームウェアを保存するフォルダを作成しておいてください。
● インターネットで以下の東芝サイトにアクセスしてください。
URL：http://www.toshiba.co.jp/g_camera
● ホームページの説明に従って、最新のファームウェアをダウンロードしてください。

ファームウェアをバージョンアップするには、以下の方法で行ってください。

1 管理者設定メニューで「管理者機能」をクリックする

・管理者機能のサブメニューが表示されます。

2 サブメニューの中の「FW アップデート」をクリックする

・管理者機能／ FW アップデートの設定画面が表示されます。

3 「参照」ボタンをクリックする

・ファイルの選択の画面が表示されます。

4 上記「はじめに」で保存した最新ファームウェアのファイルを選ぶ

・手順２の画面に選択したファイル名が表示されます。

5 手順２の画面で「アップロード」ボタンをクリックする

・表示された画面に従って､ファームウェアのバージョンアップを開始させてください。

・ファームウェアの更新が終了すると、カメラは自動的に再起動します。

お願い

- ファームウェアの更新はお客様の責任のもとに行うようにお願いします。
- ファームウェアの更新中はカメラの動作はすべて停止します。
- ファームウェアの更新中はカメラの電源を絶対に切らないでください。
- ファームウェアの更新中はカメラにつないでいるLANケーブルを絶対に抜かないでください。故障の原因となります。

構成情報をインポート／エクスポートするには（管理者機能／構成情報）

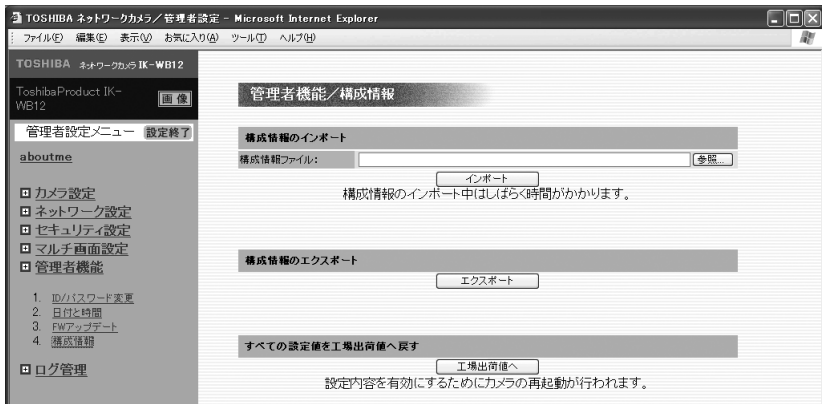
カメラの構成情報（設定情報）を取り出してパソコンに保存したり（エクスポート）、パソコンから取り込んだり（インポート）できます。

構成情報をエクスポートする

1 管理者設定メニューで「管理者機能」をクリックする

・管理者機能のサブメニューが表示されます。

2 サブメニューの中の「構成情報」をクリックする

・管理者機能／構成情報の設定画面が表示されます。

3 「エクスポート」ボタンをクリックする

・ファイルの保存の確認画面が表示された場合は、「保存」をクリックします。

・名前を付けて保存の画面が表示されます。

4 保存する場所を選んで、保存する

・設定ファイルがパソコンに保存されます。（ファイル名の例：ikwb12conf.ini）

構成情報をインポートする

1 管理者機能／構成情報の設定画面で「参照」ボタンをクリックする

・ファイルの選択の画面が表示されます。

2 保存した設定ファイルを選ぶ

・管理者機能／構成情報の画面に選択したファイル名が表示されます。

3 「インポート」ボタンをクリックする

・ネットワークカメラの設定内容が保存しておいた設定内容に置き換わります。

お知らせ

- 管理者機能／構成情報の設定画面上の「工場出荷値へ」ボタンをクリックすると、すべての設定値が工場出荷時（お買い上げ時）の値に戻ります。

ログの管理（ログ管理／参照と削除）

ログの表示を見たり、管理できます。

ログの表示内容については「ログの表示について」（→ 90 ページ）をご覧ください。

1 管理者設定メニューで「ログ管理」をクリックする

・ログ管理のサブメニューが表示されます。

2 サブメニューの中の「参照と削除」をクリックする

・ログ管理／参照と削除の設定画面が表示されます。

3 ログを見るまたは各項目を設定する

● ログ参照

「ログ参照」欄にログが表示されているので、ログを見ることができます。

● フィルター設定

表示させるログの条件を設定できます。

1）「表示」を「条件を設定する」に設定します。

2）「表示の条件設定」を設定します。

　条件を設定してください。

3）「ログを再表示する」ボタンをクリックします。

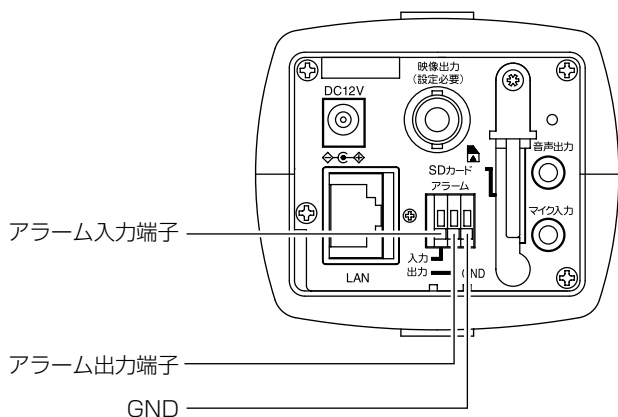
　設定した条件のログだけが表示されます。

お知らせ

- 「条件を保存する」ボタンをクリックすると、条件を保存できます。
- 「ログを削除する」ボタンをクリックすると、ログを削除できます。

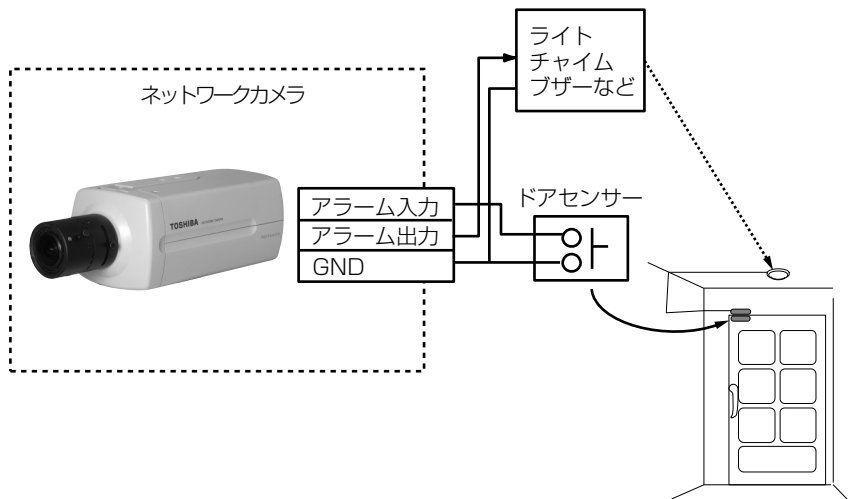
アラーム端子について

アラーム端子を使用して各種センサーなどを接続することができます。各端子の機能については下表を参照してください。

端子名	説　明
アラーム入力	・外部アラーム信号の入力 ・入力信号は以下の2タイプから選択可能です。 ノーマルオープン ノーマルクローズ ・センサーなどを接続してください。
アラーム出力	・オープンコレクタ出力 ・最大DC24V、50mA ・出力保持時間は、カメラ設定／アラーム／出力保持時間（→61ページ）の設定に従います。
GND	信号GND

アラーム端子について（つづき）

■アラーム信号仕様について

名　称	内部回路	信号条件
アラーム 入　　力	DC3.3V 47kΩ 220Ω 本体内部 CMOS入力へ	無電圧接点信号、CMOS 3.3V-GND 信号入力 ノーマルオープン 100ms以上 3.3V 0V ノーマルクローズ 100ms以上 3.3V 0V
アラーム 出　　力	220Ω 本体内部 CMOS出力	最大DC24V、50mA

■回路接続の例

索引（用語について）

英　字

DNS（Domain Name System）サーバの情報を動的に書き換え、情報の差分だけをDNSサーバ間で転送できるようにした技術です。これによって、DNSサーバの情報の更新に必要なデータ転送量を減らせ、ネットワークのオーバーヘッドを少なくできます。DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）と組み合わせれば、LAN上のホストに変更に応じて即座にIPアドレスとホスト名を割り振ることができます。

TCP/IPネットワークにおいて、各クライアントに動的にIPアドレスを割り当てるためのプロトコルのことです。DHCPサーバは、IPアドレス、ゲートウェイアドレス、ドメイン名、サブネットマスクなどの情報を管理し、クライアントに割り当てることができます。

数字の羅列で構成されているIPアドレスは人間にとって扱いにくいため、アルファベットと数字（と一部の記号）を使うことができるドメイン名を別名として運用するようになりました。そのIPアドレスとドメイン名を対応させるシステムがDNSです。

他のパソコンにファイルを転送するためのプロトコル。本機はアクティブ／パッシブ両モードを実装しており、Firewallにも対応できるようになっています。

IPプロトコルで使用するためのアドレス情報のことです。IPで通信する機器にはすべてこのIPアドレスを割り当てる必要があります。
インターネットに接続されている機器では、世界で一つのグローバルIPアドレスを割り当てておく必要があります。IPアドレスには、ネットワークIDとホストIDの二つに分けることができ、ネットワークIDの値によってクラスA，B，Cの三つがあります。

ITU-TS（国際電気通信連合：旧CCITT）とISO（国際標準化機構）で定めたカラー静止画像の圧縮を定める標準規格。静止画像を1/10 ～ 1/100に圧縮することができます。

フロアの中や同一建物内、キャンパスの中など、比較的狭い地域でのコンピューターネットワークのことです。

各ネットワークカードに割り当てられている固有のコードです。Ethernetでは、このコードを元にしてフレーム（データ）の送受信を行っています。

正確な日付・時刻をネットワークによって提供するサーバのことです。

インターネットやイントラネットで、電子メールを受信するためのプロトコル。クライアントが、メールサーバからメールを受信する際に用いられ、認証機能を持ちます。この認証機能をSMTPでメール送信する場合に、利用するメールサーバもあります。（POP before SMTP）

はじめに
見る・聞く・操作する
記録する
設定する
その他

ログの表示について

ログはカメラ内部メモリーに保存されます。
蓄積されるログの最大件数は約 8000 件です。

メッセージID	出力メッセージ	メッセージ詳細
2000002	info> Rebooting...	カメラリブート
1201001	warn> Camera head time out on initializing.	カメラ起動時にカメラヘッドの動作設定を行なうことができません。
1201002	warn> Serial driver open error.	シリアルドライバ操作時にカメラヘッドの動作設定を行なうことができません。
1201003	warn> Camera head error.	カメラヘッドの動作変更設定を行なうことができません。
1231001	warn> GPIO driver error on input Ext.	EXT入力できません。
1231002	warn> GPIO driver error on output Alarm.	アラーム出力できません。
1231003	warn> Could not record.	アラーム記録を開始することができません。
1231004	warn> SW error on SD card.	SDメモリーカードへSW入力することができません。
1121001	info> Battery is low.	内部バッテリが減少しています。
1110001	webm> Reset to default configuration.	工場出荷状態の構成情報にすべて戻されました。
1241001	ctrl> SD card full.	SDメモリーカードが一杯です。
1240002	ctrl> SD card formatted.	SDメモリーカードがフォーマットされました。
1250001	ctrl> Successfully mounted SD memory card.	SDメモリカードを正常にマウントしました。
1251002	ctrl> Failed to mount SD memory card.	SDメモリカードのマウントに失敗しました。
1250003	ctrl> Successfully unmounted SD memory card.	SDメモリカードを正常にアンマウントしました。
1251004	ctrl> Failed to unmount SD memory card.	SDメモリカードのアンマウントに失敗しました。
1260001	ctrl> Successfully formatted SD memory card.	SDメモリカードを正常にフォーマットしました。
1261001	ctrl> Failed to format SD memory card.	SDメモリカードのフォーマットに失敗しました。
2001201	rgst> Internal error. Invalid paramter.	
2001202	rgst> Internal error. Invalid paramter.	
2001203	rgst> Internal error. Invalid paramter.	カメラ内部への構成情報の登録に失敗しました。
2001204	rgst> Internal error. File I/O.	
2001205	rgst> Internal error. File I/O.	
2000221	rgst> Success to save. Camera info.	カメラ設定が行なわれました。
2000223	rgst> Success to save. Alarm info.	アラーム設定が行なわれました。
2000224	rgst> Success to save. Motion sense.	モーション設定が行なわれました。
2000225	rgst> Success to save. Motion area.	モーションエリア設定が行なわれました。
2000226	rgst> Success to save. Recording info.	記録設定が行なわれました。
2000227	rgst> Success to save. FTPc info.	FTPクライアント設定が行なわれました。
2000228	rgst> Success to save. Sound info.	音声設定が行なわれました。
2000229	rgst> Success to save. Network info.	ネットワーク設定が行なわれました。
2000230	rgst> Success to save. Mail info.	メール設定が行なわれました。
2000231	rgst> Success to save. DDNS info.	DDNS設定が行なわれました。
2000232	rgst> Success to save. FTPs info.	FTPサーバ設定が行なわれました。
2000233	rgst> Success to save. Band Control.	帯域制御設定が行なわれました。
2000234	rgst> Success to save. User restriction.	ユーザー設定が行なわれました。
2000235	rgst> Success to save. User functions.	ユーザー利用機能設定が行なわれました。
2000236	rgst> Success to save. Malti reg.	マルチ画面カメラ登録設定が行なわれました。
2000237	rgst> Success to save. Malti selection.	マルチ画面カメラ選択設定が行なわれました。
2000238	rgst> Success to save. Admin info.	管理者機能設定が行なわれました。
2000239	rgst> Success to save. Syslog info.	ログ設定が行なわれました。
2000701	webm> Success to factory default. Camera info.	カメラ設定が工場出荷状態に戻されました。
2001702	webm> Failed to factory default. Camera info.	カメラ設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000703	webm> Success to factory default. Alarm info.	アラーム設定が工場出荷状態に戻されました。
2001704	webm> Failed to factory default. Alarm info.	アラーム設定を工場出荷状態に戻せませんでした。

メッセージID	出力メッセージ	メッセージ詳細
2000705	webm> Success to factory default. FTPc info.	FTPクライアント設定が工場出荷状態に戻されました。
2001706	webm> Failed to factory default. FTPc info.	FTPクライアント設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000707	webm> Success to factory default. DDNS info.	DDNS設定が工場出荷状態に戻されました。
2001708	webm> Failed to factory default. DDNS info.	DDNS設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000709	webm> Success to factory default. FTPs info.	FTPサーバ設定が工場出荷状態に戻されました。
2001710	webm> Failed to factory default. FTPs info.	FTPサーバ設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000711	webm> Success to factory default. Admin info.	管理者機能設定が工場出荷状態に戻されました。
2001712	webm> Failed to factory default. Admin info.	管理者機能設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000713	webm> Success to factory default. Network info.	ネットワーク設定が工場出荷状態に戻されました。
2001714	webm> Failed to factory default. Network info.	ネットワーク設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000715	webm> Success to factory default. Mail info.	メール設定が工場出荷状態に戻されました。
2001716	webm> Failed to factory default. Mail info.	メール設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000717	webm> Success to factory default. DDNS info.	DDNS設定が工場出荷状態に戻されました。
2001718	webm> Failed to factory default. DDNS info.	DDNS設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000719	webm> Success to factory default. FTPs info.	FTPサーバ設定が工場出荷状態に戻されました。
2001720	webm> Failed to factory default. FTPs info.	FTPサーバ設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000721	webm> Success to factory default. FrameRate info.	フレームレート設定が工場出荷状態に戻されました。
2001722	webm> Failed to factory default. FrameRate info.	フレームレート設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000723	webm> Success to factory default. User ID/PW info.	ユーザー管理設定が工場出荷状態に戻されました。
2001724	webm> Failed to factory default. User ID/PW info.	ユーザー管理設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000725	webm> Success to factory default. User Func info.	ユーザー利用機能設定が工場出荷状態に戻されました。
2001726	webm> Failed to factory default. User Func info.	ユーザー利用機能設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000727	webm> Success to factory default. Malti info.	マルチ画面設定が工場出荷状態に戻されました。
2001728	webm> Failed to factory default. Malti info.	マルチ画面設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000729	webm> Success to factory default. Admin info.	管理者情報設定が工場出荷状態に戻されました。
2001730	webm> Failed to factory default. Admin info.	管理者情報設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000731	webm> Success to factory default. NTP info.	日時NTP設定が工場出荷状態に戻されました。
2001732	webm> Failed to factory default. NTP info.	日時NTP設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000733	webm> Success to factory default. ALL info.	すべての設定が工場出荷状態に戻されました。
2001734	webm> Failed to factory default. ALL info.	すべての設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000735	webm> Success to factory default. Log info.	ログ管理設定が工場出荷状態に戻されました。
2001736	webm> Failed to factory default. Log info.	ログ管理設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2001631	webm> Failed to clear log.	ログのクリアに失敗しました。
2000632	webm> Log was cleared.	ログをクリアしました。
2000501 2000502	upld> Start Uploading… - File type: ini file.	構成情報ファイルのアップロードを開始しました。
2000501 2000503	upld> Start Uploading… - File type: firmware.	ファームウェアのアップロードを開始しました。
2001504	...Uploading fail.	アップロードに失敗しました。
2000505	...Uploading done.	アップロードに成功しました。
2001506	upld> Internal error. HTTP query violation.	HTTPのクエリに異常がありました。HTTPリクエストを拒否しました。
2001507	upld> Internal error. HTTP header violation.	HTTPのヘッダに異常がありました。HTTPリクエストを拒否しました。
2001508	upld> Internal error. Available memory.	内部メモリが不足しています。
2001509	upld> Internal error. File I/O.	内部メモリ不足などのため、ファイル操作に失敗しました。
2001510	upld> Internal error. File I/O.	
2001511	upld> Internal error. File I/O.	

ログの表示について（つづき）

メッセージID	出力メッセージ	メッセージ詳細	
2001512	upld> Internal error. File I/O.	内部メモリ不足などのため、ファイル操作に失敗しました。	
2001513	upld> Internal error. File I/O.		
2000514	...Updating done.	アップロードされたデータを内部展開しました。（構成情報ファイル、ファームウェア共通）	
2000515	...Updating fail.	アップロードされたデータの内部展開に失敗しました。（構成情報ファイル、ファームウェア共通）	
2000516	...Camera rebooting.	カメラのリブートが実行されました。	
2000517	...Cancel camera rebooting.	カメラのリブートはキャンセルされました。	
2000400	...Set done. Cam info.	構成情報ファイルの更新関係	カメラ設定を更新しました。
2001401	...Set fail. Cam info.		カメラ設定の更新に失敗しました。
2000402	...Default done. Cam info.		カメラ設定を工場出荷状態に戻しました。
2001403	...Default fail. Cam info.		カメラ設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000404	...Skip Cam info.		カメラ設定は登録がなかったためスキップされました。
2000405	...Set done Cam Hidden info.		カメラ高度な設定を更新しました。
2001406	...Set fail Cam Hidden info.		カメラ高度な設定の更新に失敗しました。
2000407	...Default done. Cam Hidden info.		カメラ高度な設定を工場出荷状態に戻しました。
2001408	...Default fail. Cam Hidden info.		カメラ高度な設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000409	...Skip Cam Hidden info.		カメラ高度な設定は登録がなかったためスキップされました。
2000410	...Set done. Alarm info.		アラーム設定を更新しました。
2001411	...Set fail. Alarm info.		アラーム設定の更新に失敗しました。
2000412	...Default done. Alarm info.		アラーム設定を工場出荷状態に戻しました。
2001413	...Default fail. Alarm info.		アラーム設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000414	...Skip Alarm info.		アラーム設定は登録がなかったためスキップされました。
2000415	...Set done. Recording info.		記録設定を更新しました。
2001416	...Set fail. Recording info.		記録設定の更新に失敗しました。
2000417	...Default done. Recording info.		記録設定を工場出荷状態に戻しました。
2001418	...Default fail. Recording info.		記録設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000419	...Skip Recording info.		記録設定は登録がなかったためスキップされました。
2000420	...Set done. FTPc info.		FTPクライアント設定を更新しました。
2001421	...Set fail. FTPc info.		FTPクライアント設定の更新に失敗しました。
2000422	...Default done. FTPc info.		FTPクライアント設定を工場出荷状態に戻しました。
2001423	...Default fail. FTPc info.		FTPクライアント設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000424	...Skip FTPc info.		FTPクライアント設定は登録がなかったためスキップされました。
2000425	...Set done. Sound info.		音声設定を更新しました。
2001426	...Set fail. Sound info.		音声設定の更新に失敗しました。
2000427	...Default done. Sound info.		音声設定を工場出荷状態に戻しました。
2000428	...Default fail. Sound info.		音声設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000429	...Skip Sound info.		音声設定は登録がなかったためスキップされました。
2000430	...Set done. Network info.		ネットワーク設定を更新しました。
2001431	...Set fail. Network info.		ネットワーク設定の更新に失敗しました。
2000432	...Default done. Network info.		ネットワーク設定を工場出荷状態に戻しました。
2001433	...Default fail. Network info.		ネットワーク設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000434	...Skip Network info.		ネットワーク設定は登録がなかったためスキップされました。

メッセージID	出力メッセージ	メッセージ詳細	
2000435	...Set done. Mail info.	構成情報ファイルの更新関係	メール設定を更新しました。
2001436	...Set fail. Mail info.		メール設定の更新に失敗しました。
2000437	...Default done. Mail info.		メール設定を工場出荷状態に戻しました。
2001438	...Default fail. Mail info.		メール設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000439	...Skip Network info.		メール設定は登録がなかったためスキップされました。
2000440	...Set done. DDNS info.		DDNS設定を更新しました。
2001441	...Set fail. DDNS info.		DDNS設定の更新に失敗しました。
2000442	...Default done. DDNS info.		DDNS設定を工場出荷状態に戻しました。
2001443	...Default fail. DDNS info.		DDNS設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000444	...Skip DDNS info.		DDNS設定は登録がなかったためスキップされました。
2000445	...Set done. FTPs info.		FTPサーバ設定を更新しました。
2001446	...Set fail. FTPs info.		FTPサーバ設定の更新に失敗しました。
2000447	...Default done. FTPs info.		FTPサーバ設定を工場出荷状態に戻しました。
2001448	...Default fail. FTPs info.		FTPサーバ設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000449	...Skip FTPs info.		FTPサーバ設定は登録がなかったためスキップされました。
2000450	...Set done. Band Control.		帯域制御設定を更新しました。
2001451	...Set fail. Band Control.		帯域制御設定の更新に失敗しました。
2000452	...Default done. Band Control.		帯域制御設定を工場出荷状態に戻しました。
2001453	...Default fail. Band Control.		帯域制御設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000454	...Skip Band Control.		帯域制御設定は登録がなかったためスキップされました。
2000455	...Set done. User restrinction.		ユーザー設定を更新しました。
2001456	...Set fail. User restrinction.		ユーザー設定の更新に失敗しました。
2000457	...Default done. User restriction.		ユーザー設定を工場出荷状態に戻しました。
2001458	...Default fail. User restriction.		ユーザー設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000459	...Skip User restriction.		ユーザー設定は登録がなかったためスキップされました。
2000460	...Set done. User functions.		ユーザー利用機能設定を更新しました。
2001461	...Set fail. User functions.		ユーザー利用機能設定の更新に失敗しました。
2000462	...Default done. User functions.		ユーザー利用機能設定を工場出荷状態に戻しました。
2001463	...Default fail. User functions.		ユーザー利用機能設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000464	...Skip User functions.		ユーザー利用機能設定は登録がなかったためスキップされました。
2000465	...Set done. Malti configurations.		マルチ画面設定を更新しました。
2001466	...Set fail. Malti configurations.		マルチ画面設定の更新に失敗しました。
2000467	...Default done. Malti configurations.		マルチ画面設定を工場出荷状態に戻しました。
2001468	...Default fail. Malti configurations.		マルチ画面設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000469	...Skip Malti configurations.		マルチ画面設定は登録がなかったためスキップされました。
2000470	...Set done. Admin info.		管理者機能設定を更新しました。
2001471	...Set fail. Admin info.		管理者機能設定の更新に失敗しました。
2000472	...Default done. Admin info.		管理者機能設定を工場出荷状態に戻しました。
2001473	...Default fail. Admin info.		管理者機能設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000474	...Skip Admin info.		管理者機能設定は登録がなかったためスキップされました。
2000475	...Set done. T&D.		日時設定を更新しました。
2001476	...Set fail. T&D.		日時設定の更新に失敗しました。
2000477	...Default done. T&D.		日時設定を工場出荷状態に戻しました。

はじめに
見る・聞く・操作する
記録する
設定する
その他

メッセージID	出力メッセージ	メッセージ詳細	
2001478	...Default fail. T&D.	構成情報ファイルの更新関係	日時設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000479	...Skip T&D.		日時設定は登録がなかったためスキップされました。
2000480	...Set done. Log info.		ログ設定を更新しました。
2001481	...Set fail. Log info.		ログ設定の更新に失敗しました。
2000482	...Default done. Log info.		ログ設定を工場出荷状態に戻しました。
2001483	...Default fail. Log info.		ログ設定を工場出荷状態に戻せませんでした。
2000484	...Skip Log info.		ログ設定は登録がなかったためスキップされました。
2001301	inif> Internal error. File I/O.	構成情報ファイルの操作中にメモリ不足等エラーが発生しました。	
2001302	inif> Internal error. File I/O.		
2001303	inif> Internal error. File I/O.		
2001304	inif> Internal error. File I/O.		
2001305	inif> Ini file syntax error.	構成情報ファイルの書式に誤りがあります。	
2001306	inif> Ini file syntax error.		
2001307	inif> Ini file syntax error.		
2001308	inif> Ini file syntax error.		
2001309	inif> Ini file syntax error.		
2001310	inif> Ini file syntax error.		
2001311	inif> Ini file syntax error.		
2001312	inif> Ini file syntax error.		
2001313	inif> Ini file syntax error.		
1601101	ftc1> Failed to connect server.	FTPクライアント動作において、指定した第二FTPサーバとの接続に関するメッセージ。	FTPサーバと接続できませんでした。
1601102	ftc1> Failed to log into server.		FTPサーバへのログインに失敗しました。
1601103	ftc1> Could not change directory.		指定されたディレクトリへ移行できませんでした。
1601104	ftc1> Could not change into binary mode.		バイナリモードへ移行できませんでした。
1601105	ftc1> Could not change into passive mode.		パッシブモードへ移行できませんでした。
1601106	ftc1> Could not change into active mode.		アクティブモードへ移行できませんでした。
1601107	ftc1> Failed to send data.		JPEGデータの転送に失敗しました。
1601108	ftc1> Communication time out.		FTPサーバとの間で通信タイムアウトが発生しました。
1601100	ftc1> Invalid ID or password.		指定されたID、またはパスワードが不正です。
1601111	ftc1> Tried to login without account.		ログインには課金情報が必要です。IK-WB12ではサポートしてません。
1601112	ftc1> Tried to transfer without account.		JPEGデータの転送には課金情報が必要です。IK-WB12ではサポートしてません。
1601113	ftc1> Server not available.		サーバが利用不可能です。
1601114	ftc1> CWD error.		サーバでディレクトリ移動(CWD)が禁止されています。
1601115	ftc1> Directory not found or no permissions.		指定されたディレクトリが存在しないか、書き込み許可がありません。
1601116	ftc1> Server error on binary mode.		サーバでバイナリモードが禁止されています。
1601117	ftc1> Server error on passive mode.		サーバでパッシブモードが禁止されています。
1601118	ftc1> Server resource not available.		サーバに十分な空き容量がありません。
1601201	ftc2> Failed to connect server.	FTPクライアント動作において、指定した第二FTPサーバとの接続に関するメッセージ。	FTPサーバと接続できませんでした。
1601202	ftc2> Failed to log into server.		FTPサーバへのログインに失敗しました。
1601203	ftc2> Could not change directory.		指定されたディレクトリへ移行できませんでした。
1601204	ftc2> Could not change into binary mode.		バイナリモードへ移行できませんでした。
1601205	ftc2> Could not change into passive mode.		パッシブモードへ移行できませんでした。
1601206	ftc2> Could not change into active mode.		アクティブモードへ移行できませんでした。

メッセージID	出力メッセージ	メッセージ詳細	
1601207	ftc2> Failed to send data.	FTPクライアント動作において、指定した第二FTPサーバとの接続に関するメッセージ。	JPEGデータの転送に失敗しました。
1601208	ftc2> Communication time out.		FTPサーバとの間で通信タイムアウトが発生しました。
1601200	ftc2> Invalid ID or password.		指定されたID、またはパスワードが不正です。
1601211	ftc2> Tried to login without account.		ログインには課金情報が必要です。IK-WB12ではサポートしてません。
1601212	ftc2> Tried to transfer without account.		JPEGデータの転送には課金情報が必要です。IK-WB12ではサポートしてません。
1601213	ftc2> Server not available.		サーバが利用不可能です。
1601214	ftc2> CWD error.		サーバでディレクトリ移動(CWD)が禁止されています。
1601215	ftc2> Directory not found or no permissions.		指定されたディレクトリが存在しないか、書き込み許可がありません。
1601216	ftc2> Server error on binary mode.		サーバでバイナリモードが禁止されています。
1601217	ftc2> Server error on passive mode.		サーバでパッシブモードが禁止されています。
1601218	ftc2> Server resource not available.		サーバに十分な空き容量がありません。
1611001	mail> Not found SMTP Server.	SMTPサーバが見つかりません。	
1611002	mail> Faile to connect SMTP Server.	SMTPサーバとの接続に失敗しました。	
1611021	mail> Not found POP3 Server.	POP3サーバが見つかりません。	
1611022	mail> Failed to connect POP3 Server.	POP3サーバとの接続に失敗しました。	
1611022	mail> Failed to authenticate POP3 Server.	POP3サーバとの認証に失敗しました。	
1631001	ntpc> Failed to launch NTPc.	NTPの起動に失敗しました。	
1630002	ntpc> Successfully adjusted.	NTP時刻合わせに成功しました。	
1631003	ntpc> Failed to adjust.	NTP時刻合わせに失敗しました。	
1631004	ntpc> Internal error.	NTPでエラーが発生しました。	
1631005	ntpc> Unknown server name.	NTPサーバが見つかりません。	
1620001	ddns> Success to connect server.	DDNSサーバとの接続に成功しました。	
1620002	ddns> Activate communication ok.	アクティベート通信に成功応答しました。	
1621001	ddns> Failed to connect server.	DDNSサーバとの接続に失敗しました。	
1621002	ddns> Activate communication failed.	DDNSサーバとの接続に失敗したため、アクティベート通信を行ないませんでした。	
1621003	ddns> Received server error.	「サーバエラー」応答を受信しました。	
1621004	ddns> Received few informations.	「情報不備、または契約未締結等」応答を受信しました。	
1621005	ddns> Received unknown status.	規定外のステータスを受信しました。	
1621006	ddns> Received unknown format.	規定外のフォーマットを受信しました。	
1621011	ddns> Failed to resolve name.	DDNSサーバの名前解決に失敗しました。	
1621012	ddns> Failed to resolve name.	DDNSサーバの名前解決に一時的に失敗しました。	
1621013	ddns> Failed to resolve name.	DDNSサーバの名前解決において不明なエラーが通知されました。	
1621014	ddns> Initializing error.	カメラのDDNSサービスプログラムの起動に失敗しました。	
1621015	ddns> Error terminated.	カメラのDDNSサービスプログラムで発生したエラーのため、DDNS機能を停止しています。	
1301001	strm> Invalid parameter on streaming.	ストリーム配信リクエストのパラメータに誤りがあります。	
1301002	strm> Unknown client ID on streaming.	ストリーム配信リクエストで不明なクライアントIDを受信しました。	
1301003	strm> Not permitted ID or password on streaming.	ストリーム配信リクエストで無効なIDまたはパスワードを受信しました。	
1301004	strm> Streaming could not carry on.	ストリーム配信を続けることができません。	
2001101	prsr> Internal error. HTTP violation.	HTTPリクエストのフォーマット、またはその内容に異常がありました。HTTPリクエストを拒否しました。	
2001102	prsr> Internal error. HTTP violation.		
2001103	prsr> Internal error. HTTP violation.		

ログの表示について（つづき）

メッセージID	出力メッセージ	メッセージ詳細
2001104	prsr> Internal error. HTTP violation.	HTTPリクエストのフォーマット、またはその内容に異常がありました。
2001105	prsr> Internal error. HTTP violation.	HTTPリクエストを拒否しました。
2001106	prsr> Internal error. Vailable memory.	カメラの内部メモリが不足しています。
2001107	prsr> Internal error. File I/O.	HTTPクライアントからのフォームデータの解析に失敗しました。
2001108	prsr> Internal error. File I/O.	
2001151	redr> Internal error. Invalid parameter.	カメラ内部の構成情報の読み取りに失敗しました。
2001152	redr> Internal error. Invalid parameter.	
2001153	redr> Internal error. Invalid parameter.	
2001154	redr> Internal error. Invalid parameter.	
2001155	redr> Internal error. Invalid parameter.	
2001156	redr> Internal error. File I/O.	
2001491	expt> Internal error. File I/O.	構成情報ファイルをエクスポートするためのファイルの生成に失敗しました。
2001492	expt> Internal error. File I/O.	
1401001	rncp> Communication port open error.	カメラ自動検索プログラムの初期化に失敗しました。
1401002	rncp> Communication port error.	
1401003	rncp> Communication port already used.	
1401004	rncp> Could not send data.	カメラ自動検索プログラムがデータ送信できません。
1401005	rncp> Could not open configuration.	カメラ自動検索プログラムで障害が発生しました。
1401006	rncp> Could not launch script.	
1401007	rncp> Could not get environment.	
1401008	rncp> Few parameter.	
1401009	rncp> Could not write data.	
1401010	rncp> Could not open data.	
1401011	rncp> Failed remote configuration.	CameraFinderからのリモートコンフィグレーションに失敗しました。
1401012	rncp> Communication time out.	
1401013	rncp> Could not launch extented rncp.	
1401014	rncp> Failed to open text file.	
1401015	rncp> Failed to launch extended rncp.	
1401016	rncp> Extended rncp already launched.	
3001001	apim> HTTP violation. Invalid method.	API起動時にHTTP GET以外のメソッドを受信しました。
3001002	apim> HTTP violation. Available Query.	API起動時に異常なクエリを受信しました。
3001003	apim> Internal Error.	API起動時に内部エラーが発生しました。
3001004	apim> Invalid API name.	不正なAPI名称です。
3000005	...Successfully done.	正常終了しました。
3001006	...Failed.	異常終了しました。
3000101	apim> Called wbsetcambasic.cgi.	API wbsetcambasic.cgiが起動されました。
3000102	apim> Called wbsetcamadvance.cgi.	API wbsetcamadvance.cgiが起動されました。
3000103	apim> Called wbsetcamalarm.cgi.	API wbsetcamalarm.cgiが起動されました。
3000104	apim> Called wbsetcamrecord.cgi.	API wbsetcamrecord.cgiが起動されました。
3000105	apim> Called wbsetcamftprecord.cgi.	API wbsetcamftprecord.cgiが起動されました。
3000106	apim> Called wbsetcamsound.cgi.	API wbsetcamsound.cgiが起動されました。
3000121	apim> Called wbsetnwkbasic.cgi.	API wbsetnwkbasic.cgiが起動されました。
3000122	apim> Called wbsetnwkmail.cgi.	API wbsetnwkmail.cgiが起動されました。
3000123	apim> Called wbsetnwkddns.cgi.	API wbsetnwkddns.cgiが起動されました。
3000124	apim> Called wbsetnwkftpserver.cgi.	API wbsetnwkftpserver.cgiが起動されました。
3000125	apim> Called wbsetframerate.cgi.	API wbsetnwkframerate.cgiが起動されました。

メッセージID	出力メッセージ	メッセージ詳細
3000141	apim> Called wbsetsecuserrestrict.cgi.	API wbsetsecuserrestrict.cgiが起動されました。
3000142	apim> Called wbsetsecuserfunctions.cgi.	API wbsetuserfunctions.cgiが起動されました。
3000161	apim> Called wbsetadmininfo.cgi.	API wbsetadmininfo.cgiが起動されました。
3000162	apim> Called wbsetadminTaD.cgi.	API wbsetadminTaD.cgiが起動されました。
3000181	apim> Called wbsetadmintime.cgi.	API wbsetadmintime.cgiが起動されました。
3000182	apim> Called wbsetlogconditions.cgi.	API wbsetlogconditions.cgiが起動されました。
3000183	apim> Called wbsetlogclear.cgi.	API wbsetlogclear.cgiが起動されました。
3000201	apim> Called wbgetallinfo.cgi.	API wbgetallinfo.cgiが起動されました。
3000221	apim> Called wbgtcambasic.cgi.	API wbgetcambasic.cgiが起動されました。
3000222	apim> Called wbgetcamadvance.cgi.	API wbgetcamadvance.cgiが起動されました。
3000223	apim> Called wbgetcamalarm.cgi.	API wbgetcamalarm.cgiが起動されました。
3000224	apim> Called wbgetcamrecord.cgi.	API wbgetcamrecord.cgiが起動されました。
3000225	apim> Called wbgetcamftprecord.cgi.	API wbgetcamftprecord.cgiが起動されました。
3000226	apim> Called wbgetcamsound.cgi.	API wbgetcamsound.cgiが起動されました。
3000241	apim> Called wbgetnwkbasic.cgi.	API wbgetnwkbasic.cgiが起動されました。
3000242	apim> Called wbgetnwkmail.cgi.	API wbgetnwkmail.cgiが起動されました。
3000243	apim> Called wbgetnwkddns.cgi.	API wbgetnwkddns.cgiが起動されました。
3000244	apim> Called wbgetftpserver.cgi.	API wbgetftpserver.cgiが起動されました。
3000245	apim> Called wbgetframerate.cgi.	API wbgetframerate.cgiが起動されました。
3000261	apim> Called wbgetsecuserrestrict.cgi.	API wbgetsecuserrestrict.cgiが起動されました。
3000262	apim> Called wbgetsecuserfunctions.cgi.	API wbgetsecuserfunctions.cgiが起動されました。
3000281	apim> Called wbgetadmininfo.cgi.	API wbgetadmininfo.cgiが起動されました。
3000282	apim> Called wbgetadminTaD.cgi.	API wbgetadinTaD.cgiが起動されました。
3000283	apim> Called wbgetadmintime.cgi.	API wbgetadmintime.cgiが起動されました。
3000301	apim> Called wbgetlogconditions.cgi.	API wbgetlodconditions.cgiが起動されました。
3000302	apim> Called wbgetloglist.cgi.	API wbgetloglist.cgiが起動されました。
3000321	apim> Called wblistalarm.cgi.	API wblistalarm.cgiが起動されました。
3000322	apim> Called wblistnormal.cgi.	API wblistnormal.cgiが起動されました。
3000323	apim> Called wblistextcontrol.cgi.	API wblistextcontrol.cgiが起動されました。
3000341	apim> Called wbstragestatus.cgi.	API wbstragestatus.cgiが起動されました。
3000342	apim> Called wbstragemount.cgi.	API wbstragemount.cgiが起動されました。
3000343	apim> Called wbstragemountstatus.cgi.	API wbstragemountstatus.cgiが起動されました。
3000344	apim> Called wbstrageformat.cgi.	API wbstrageformat.cgiが起動されました。
2000345	apim> Called wbsetadminsetdefault.cgi.	API wbsetadminsetdefault.cgiが起動されました。
2000346	apim> Called wbsetadmincamreboot.cgi.	API wbsetadmincamreboot.cgiが起動されました。

修理を依頼される前にお調べください

症状	原因	対処のしかた
「Camera Finder」のネットワークカメラリストに、ご使用のネットワークカメラのIPアドレスが表示されない。	●ネットワークカメラの電源がはいっていない。	●ネットワークカメラの電源がはいっていることを確認してください。
	●ネットワークカメラのLANケーブルが抜けている。	●ネットワークカメラのLANケーブルが正しくハブやルータに接続されていることを確認してください。 ●合わせてハブやルータの電源がはいっていることも確認してください。
	●パソコンにLANケーブルが接続されていない。	●パソコンにLANケーブルがきちんと接続されていることを確認してください。
	●パソコンのIPアドレスが設定されていない。	●パソコンのIPアドレスを正しく設定してください。（21ページ）
「Camera Finder」からブラウザが起動しない。	●ブラウザがインストールされたディレクトリが違う。	●「Camera Finder」の「View／Customize／Default Browser」でお使いのブラウザのインストールされているディレクトリを指定してください。
「Camera Finder」でブラウザを起動しても「ページが見つかりません」等が表示されてカメラにログインできない。	●ネットワークカメラのIPアドレスとパソコンのIPアドレスが間違っている。	●ネットワークカメラのIPアドレスを正しく設定してください。 ●パソコンのIPアドレスを正しく設定してください。
	●ブラウザにプロキシ設定が行われている。	●ブラウザにプロキシ設定が行われていると、カメラにログインできない場合があります。お使いのブラウザのプロキシ設定からネットワークカメラのIPアドレス、またはホスト名をプロキシを経由しない設定にしてください。（28ページ）
ブラウザに直接カメラのIPアドレスを入力しても「ページが見つかりません」等が表示されてカメラにログインできない。	【「Camera Finder」でブラウザを起動しても「ページが見つかりません」等が表示されてカメラにログインできない。】と同じ原因、対処のしかたを参照してください。	

症状	原因	対処のしかた
ログインしようとしてもエラーメッセージが表示されてログインできない。	●ログインID、またはパスワードがネットワークカメラに登録された情報と異なっている。	●お客様の設定したログインID、パスワードを正しく入力してください。 ※ネットワークカメラのデフォルトのログインID、パスワードは、「root」、「ikwb」となっています。
	●パソコンのCapsLockが有効になっている。	●ログインID、パスワードは大文字、小文字を区別します。お客様の設定したログインID、パスワードを正しく入力してください。
	●パソコンが漢字入力モードになっている。	●漢字入力モードをOFFにして、お客様の設定したログインID、パスワードを正しく入力してください。
	●ネットワークカメラにログインするための管理者ログインID、パスワードを忘れてしまった。	●ネットワークカメラのリセットが必要になります。リセットするとお客様がネットワークカメラに設定した情報はすべてクリアされ、工場出荷時の情報に戻りますのでご注意ください。
インターネットからカメラへアクセスできない。	●デフォルトゲートウェイが設定されていない。	●お使いのブロードバンドルータをデフォルトゲートウェイとしてネットワークカメラに登録してください。(64ページ)
	●ブロードバンドルータにポートフォワーディングを設定していない。	●お使いのブロードバンドルータにポートフォワーディング(静的IPマスカレード、NAPT)機能を設定してください。詳しくは、ブロードバンドルータの取扱説明書を参照してください。
	●ブロードバンドルータにインターネット(WAN側)からのアクセスを禁止するIPフィルタなどの設定をしている。	●お使いのブロードバンドルータにインターネットからアクセスできるように設定してください。詳しくは、ブロードバンドルータの取扱説明書を参照してください。
	●ローカル(プライベート)IPアドレスでアクセスしている。	●インターネット経由でアクセスする場合、お客様がご契約しているプロバイダから発行されたグローバルIPアドレスをブロードバンドルータに設定する必要があります。詳しくは、ブロードバンドルータの取扱説明書を参照してください。 ※プロバイダから発行されるグローバルIPアドレスは、固定IPアドレス、またはDHCPサーバからのIPアドレスなどがあります。詳しくは、お客様がご契約しているプロバイダへお問い合わせください。
	●プロバイダのDHCPサーバから取得しているIPアドレスが変更されていた。	●新しいIPアドレスを確認して、そのIPアドレスでアクセスし直してください。 ●DDNSサーバへの登録内容の更新を行ってください。

修理を依頼される前にお調べください（つづき）

症状	原因	対処のしかた
設定ができない。	●ネットワークカメラの電源が途中で切れた。	●ネットワークカメラの電源がはいっていることを確認してください。
	●ネットワークカメラのLANケーブルが途中で抜けた。	●ネットワークカメラのLANケーブルが正しくハブやルータに接続されていることを確認してください。
	●パソコンのLANケーブルが途中で抜けた。	●パソコンのLANケーブルが正しくハブやルータに接続されている事を確認してください。
	●ハブやルータの電源が途中で切れた。	●ハブやルータの電源がはいっていることを確認してください。
	●「ネットワーク設定／基本設定」でIPアドレスを変更した。	●IPアドレスを変更すると、それまで設定画面で使用していたIPアドレスでは設定を継続できなくなります。「Camera Finder」でもう一度検索を行い管理者ログインし直してください。 ●ブラウザに直接ネットワークカメラのIPアドレスを入力する場合、例として「http://192.168.0.40/admin.htm」のように新しいネットワークカメラのIPアドレスを入力してもう一度ログインし直してください。
映像が出ない。	●アイリス制御の設定が正しく設定されていない。	●レンズに合わせてアイリス制御の設定を正しく設定してください。（57ページ）
	●レンズの絞りが正しく調整されていない。	●レンズの絞りを正しく調整してください。
	●ケーブル類が正しく接続されていない。	●ケーブル類を正しく接続してください。
	●アイリスアンプ内蔵レンズ（EE/VIDEO）を使用している。	●アイリスアンプ無しレンズ（DC）を使用してください。
画像の色が正しく出ない。	●表示用モニターが正しく調整されていない。	●表示用モニターを正しく調整してください。
	●パソコンのモニター色の設定が16bit未満になっている。	●16bit以上に設定してください。
	●照明が暗い。	●照明を明るくしてください。
	●ホワイトバランスの設定が適切でない。	●ホワイトバランスを被写体に応じて設定してください。（55ページ）
	●色差GAINの設定が適切でない。	●色差GAINを正しく設定してください。（58ページ）

症状	原因	対処のしかた
画像に色がつかない。	●自動B/WがONになっている。	●自動B/W設定をOFFにしてください。（54ページ）
	●色差GAINの設定が小さい。	●色差GAINを大きくしてください。（58ページ）
ネットワークカメラの画像が表示されない。	●回線が混んでいる。	●画面がすぐに表示されない場合もあります。少しお待ちください。
	●パソコンのリソース（CPUパワー、RAM）が不足している。	●ネットワークカメラの画像を見るためには、パソコンの推奨動作条件があります。（18ページ） ●パソコンで起動しているネットワークカメラに関するブラウザ以外を閉じてください。
	●Cookieが有効になっていない。	●Cookieを有効にしてください。
	●インターネットオプションのセキュリティの設定が合っていない。	●インターネットオプションのセキュリティの設定を変更してください。（27ページ）
	●ブラウザにプロキシ設定が行われている。	●ブラウザにプロキシ設定が行われていると、カメラの画像が表示されない場合があります。お使いのブラウザのプロキシ設定からネットワークカメラのIPアドレス、またはホスト名をプロキシを経由しない設定にしてください。（28ページ）
ネットワークカメラの画像の更新が遅い。	●配信画像サイズが大きい。	●ネットワークカメラは、VGA（640x480)サイズで画像を配信するようにデフォルト設定されています。画像を高速にするためには、「カメラ／基本設定」の「配信画像サイズ」で小さい画像サイズを選択してください。（53ページ）
	●画質が高画質に設定されている。	●「カメラ／基本設定」の「クオリティ」で低いレベルを選択すると配信スピードが向上しますが、画質は落ちます。（54ページ）
	●複数のユーザーが同時にカメラにアクセスしている。	●複数のユーザーが同時にカメラにアクセスすると画像の更新スピードは低下します。
	●ブラウザにプロキシ設定が行われている。	●ブラウザにプロキシ設定が行われていると、カメラの画像の更新が遅くなる場合があります。お使いのブラウザのプロキシ設定からネットワークカメラのIPアドレス、またはホスト名を経由しない設定にしてください。（28ページ）
ネットワークカメラの画像がちらつく。	●フリッカーの設定が正しくない。	●東日本（50Hz帯）でネットワークカメラをお使いの場合、「カメラ／基本設定」の「フリッカー補正」をONにしてください。（57ページ）

修理を依頼される前にお調べください（つづき）

症状	原因	対処のしかた
暗闇の中でネットワークカメラの画像が何も表示されない。	●露光不足。	●管理者設定で「カメラ設定／基本設定／自動B/W」をONにしてください。暗闇の中では、モノクロになりますがある程度まで画像が表示できるようになります。それでも画像が表示されなければ照明を使って被写体を明るくしてください。（54ページ） ●日中の画像には影響ありません。また、本カメラは自動B/W機能のほかにAGC（最大値）設定、スローシャッターの上限値の設定があります。シーンに合わせて設定してください。（56ページ）
画像の焦点が合わない。	●レンズカバーがよごれている、あるいはゴミが付着している。	●乾いた布でふき取ってください。
	●被写体までの距離が近すぎる。	●お使いのレンズの最短撮影距離をご確認ください。
ネットワークカメラの音声が出力されない。	●お使いのパソコンの音量が0になっている。	●お使いのパソコンの音量を調整してください。
	●マイクが装着されていない。	●市販されているマイクをネットワークカメラに装着してください。（12 ページ）
	●マイクの仕様が合っていない。	●ご使用できるマイクは、コンデンサ型のモノラルマイクです。プラグ形状はφ3.5mmモノラル専用です。
	●音声入力の設定が合っていない。	●「カメラ／音声設定」の「音声入力」をONにしてください。（62 ページ）
	●カメラ画像画面の ボタンが 表示になっている。	●カメラ画像画面の ボタンをクリックして、 表示にしてください。（29 ページ）
	●ブラウザにプロキシ設定が行われている。	●ブラウザにプロキシ設定が行われていると、カメラの音声が出力されない場合があります。お使いのブラウザのプロキシ設定からネットワークカメラIPアドレス、またはホスト名を経由しない設定にしてください。（28ページ）
ネットワークカメラの音声感度が悪い。	●マイクの向きが音を拾いたい向きになっていない。	●ネットワークカメラの外部マイクを音を拾いたい方向に向けてください。

症状	原因	対処のしかた
ネットワークカメラから音声が出力されない。	●お使いのパソコンのマイク音量が0になっている。	●お使いのパソコンのマイク音量を調整してください。マイク音量の調整方法については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
	●音声出力機器が装着されていない。	●市販されている音声出力機器（アンプ内蔵スピーカ等）をネットワークカメラに装着してください。（12ページ）
	●音声出力の設定が合っていない。	●「カメラ／音声設定」の「音声出力」をONにしてください。（62ページ）
	●カメラ画像画面の ボタンが 表示になっている。	●カメラ画像画面の ボタンをクリックして、 表示にしてください。（29ページ）
	●ブラウザにプロキシ設定が行われている。	●ブラウザーにプロキシ設定が行われていると、カメラから音声が出力されない場合があります。お使いのブラウザのプロキシ設定からネットワークカメラIPアドレス、またはホスト名を経由しない設定にしてください。（28ページ）
メール送信できない。	●SMTP、POPサーバが正しく設定されていない。	●プロバイダから通知されたSMTPとPOPサーバを設定してください。 （67ページ）
	●DNSサーバが正しく設定されていない。	●プロバイダから通知されたDNSサーバをプライマリDNS、セカンダリDNSに設定してください。 （64ページ） ※プライマリはマスターと表現したり、セカンダリはスレーブと表現したりもしますが、同じ意味を示します。
	●メールの送信条件が設定されていない。	●メールを送信するためには、ネットワークカメラに、どの条件で誰にメールを送信するか設定する必要があります。（67ページ）
時刻合わせできない。	●NTPサーバが正しく設定されていない。	●インターネットで公開されるNTPサーバは利用者に通知なしに運用を停止したりする場合もあります。
バージョンアップが正常に完了しなかった。	●バージョンアップ中に、電源オフ、ネットワークトラブル、その他の理由でバージョンアップが完了しなかった。	●80ページの「バージョンアップのしかた」の手順に従って、やり直してください。

修理を依頼される前にお調べください（つづき）

症状	原因	対処のしかた
FTPサーバに画像が記録されない。	●FTPによる記録機能が有効になっていない。	●FTPによる記録機能が有効になっているかを確認してください。（41ページ）
	●FTPサーバのログイン名、パスワードが間違っている。	●正しい情報をもう一度設定してください。（41ページ）
	●FTPによる転送を行っている最中に何らかの原因でサーバとの通信ができなくなった。	●5分以上放置しても記録が再開されない場合は、FTPサーバとネットワークカメラの回線などが正しく接続されているか確認してください。 ●蓄積の機能を「ON」に設定した場合（48ページ）、送信できなかった記録ファイルはネットワークカメラ内のSDメモリーカードに蓄積されています。回線が回復すると蓄積していた記録はすべて送信されます。
アラーム時のプリ／ポスト記録ファイルが届いていない。	●プリ記録はアラーム発生以前の画像データになるため、その記録配信順番は必ずしも整然としません。	●使用されているサーバ、回線状態、配信画像サイズ、画質設定内容によっては、送信枚数が減少する場合があります。
問題を解決できない。	――――	●リセットボタンを押す リセットボタンを押すと、カメラのファームウェアの設定内容が初期状態（お買い上げの状態）に戻ります。 ＜カメラの設定情報を初期状態に戻す方法＞ 1　カメラと電源のはいったハブをLANケーブルで接続します。 2　カメラの電源を投入します。 3　約1分間待ちます。 4　カメラ本体のリセットボタンを5～10秒押し続けます。 5　約1分間待ちます。 カメラが再起動したら再び設定し直してください。ネットワークなどの初期設定は19ページを参照してください。
	――――	お買い上げの販売店へご相談ください。

LANケーブルで電源供給をするPoE給電機能について

PoE（Power over Ethernet）には、スペアペア（空き線を使って給電する方式）と、シグナルペア（信号線を使って給電する方式）の二つの手法があります。受電側である本機はそのどちらにも対応していますが、ハブなどの給電装置には、どちらか片方だけ対応しているものもあります。詳しくは給電装置の取扱説明書をご覧ください。

LANケーブルの種類によっては、上記給電装置から電源が供給できないことがありますので、４対のツイストペアのLANケーブルをご使用ください。

その他

- カメラに強い光が当たると、実際にはない縞模様が干渉縞として現れることがありますが、故障ではありません。このような場合は、カメラを設置する場所を変えるか、またはカメラのレンズの向きを変えてみてください。
- 音声とカメラ画像は必ずしも一致するとはかぎりません。

仕様

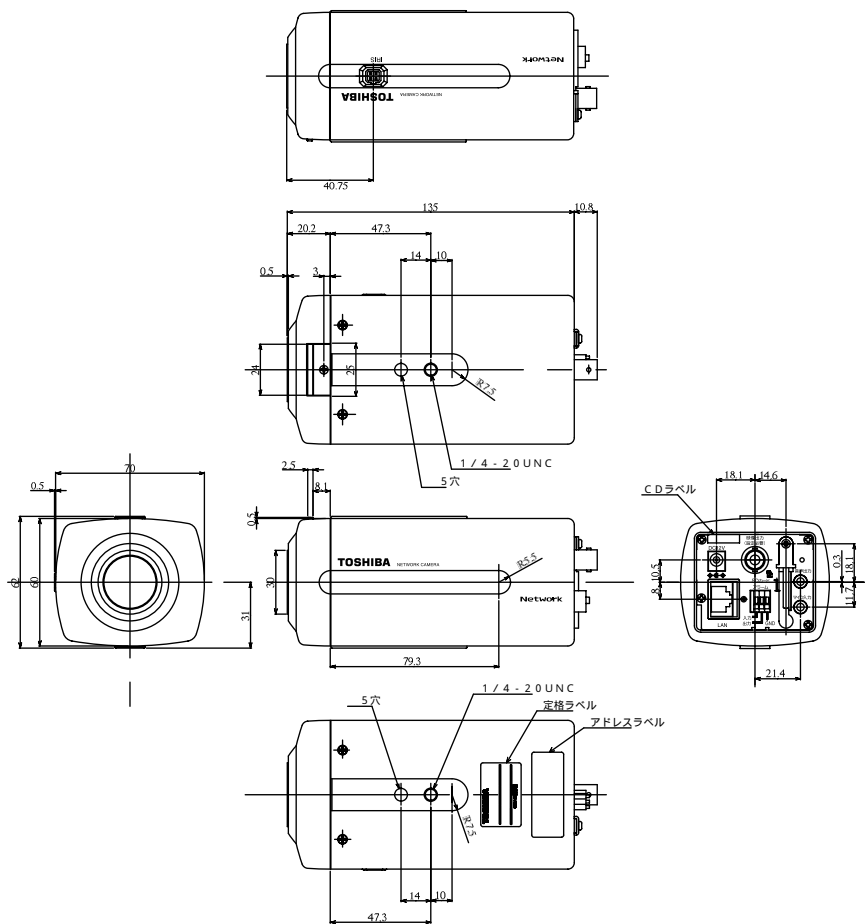
形名	IK-WB12
電源	DC12V±10% ／PoE
消費電力	約6.0W
撮像素子	1/4.2型CCD
有効画素数	水平648　垂直486×2　629,865画素（ハニカムアレイ）
有効画素エリアサイズ	水平3.4992mm　垂直2.6244mm
走査方式	プログレッシブ
同期方式	内部同期
最低被写体照度	6.2 lx（1/30s F1.0 AGC HIGH）1.6 lx（1/7.5s F1.0 AGC HIGH）0.05 lx（4s F1.0 AGC HIGH）
映像出力	NTSC コンポジット　75Ω不平衡（画角調整用）
ホワイトバランス	自動（AWB）（2500K～7000K）、マニュアル、他4固定
逆光補正	OFF／自動のほか5エリア指定可能
レンズマウント	CSマウント
レンズ	なし（別売）（自動絞り対応レンズ：DCのみ）
アイリス切換	DC（自動絞りレンズ）/AES（固定絞りレンズ）
フリッカー補正	あり
電子高感度	OFF、1/7.5s(x4)、1/2.5s(x12)、1/1.8s(x16)、1s(x30)、2s(x60)、4s(x120) OFFは1/30s［フリッカー補正時は1/33s］（　）内は、1/30sに対する感度アップの倍率
アラーム端子	入力×1　出力×1
画像サイズ	1280×960　640×480　320×240　160×120　（ピクセル）
画像圧縮方式	JPEG
画質設定	3段階
最大フレームレート*1	SXVGA：7.5fps VGA/QVGA/QQVGA：30fps
音声*2	あり（双方向（マイク入力／スピーカー出力）、PCM） マイク入力端子：3.5mmモノラルミニジャック、プラグインパワー対応 音声出力端子：3.5mmモノラルミニジャック
モーションアラーム機能	あり
画像記録機能	あり
記録メディア	SDメモリーカード（別売）
メール通知機能	あり
ネットワークインターフェース	規格：IEEE802.3, IEEE802.3af(PoE)　種類：10BASE-T, 100BASE-TX　コネクタ：RJ-45
プロトコル	TCP/IP, UDP/IP, HTTP, SMTP, DNS, FTPc, FTPs, DDNS, NTP, DHCPc,syslog, ICMP, RNCP
対応OS、ブラウザ	Windows2000、WindowsXP、InternetExplorer6.0sp1
動作保証周囲温度	－10℃～＋40℃
動作保証周囲湿度	90%以下　（結露がないこと）
保存温度	－20℃～＋60℃
質量	約450g（本体のみ）
外形寸法	70（幅）×62（高さ）×135（奥行）mm（突起部除く）
付属品	取扱説明書（本書）（保証書付き）

*1：被写体、画質、ネットワーク環境や使用されるパソコンの性能によって変わります。
*2：音声は、回線の状態によっては途切れることがあります。

- 意匠、仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。
- この取扱説明書に記載している画面表示、写真、イラストなどは実際とは多少異なる場合があります。

外観図

単位：mm

40.75
135
10.8
20.2
47.3
14
10
0.5
3
24
25
R7.5
1／4－20UNC
φ5穴
70
0.5
2.5
8.1
0.5
62
60
30
31
R5.5
TOSHIBA
NETWORK CAMERA
Network
79.3
CDラベル
18.1
14.6
10.5
8
0.3
18.1
11.7
21.4
LAN
1／4－20UNC
φ5穴
定格ラベル
アドレスラベル
R7.5
14
10
47.3

東芝ネットワークカメラIK-WB12で使われるソフトウェアのライセンス情報

東芝ネットワークカメラ IK-WB12に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東芝または第三者の著作権が存在します。

東芝ネットワークカメラ IK-WB12 は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

ご購入いただいた東芝ネットワークカメラ IK-WB12は、製品として、弊社所定の保証をいたします。ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理･訂正に要する費用は、東芝は一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更･再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

東芝ネットワークカメラ IK-WB12に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は東芝以外の第三者による規定であるため、原文（英文）を記載します。

対応ソフトウェアモジュール	
Axis SDK	Axis Communications AB（以下「Axis」といいます）が東芝にライセンス供与したソフトウェア及び Axis が再配布するフリーソフトウェアで構成されるソフトウェアコンポーネントです。ソースコードは、http://developer.axis.com にて自由に入手できます。「EULA」の本文をご希望の方は、Axis までご連絡ください。
mkdosfs	Exhibit A 参照
login	Exhibit B 参照

Exhibit A

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which containsa notice placed by the copyright holder saying it may be distributedunder the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

Appendix: How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright (C) 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 675 Mass Ave, Cambridge, MA 02139, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) 19yy name of author

Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.

This is free software, and you are welcome to redistribute itunder certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989

Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

Exhibit B

Copyright (c) 1980, 1987, 1988 The Regents of the University of California.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED

東芝ネットワークカメラ保証書

形名		IK-WB12		
★お客様	お名前	ふりがな 様		
	ご住所	〒□□□-□□□□		
	電話	市外 / 市内 / 番号 / 呼		
保証期間		★お買い上げ日 年　月　日から	本体	1 年
★ご販売店		住所・店名 電話		

株式会社 **東芝** デジタルメディアネットワーク社
映像システム事業部
〒105-8001　東京都港区芝浦１－１－１　電話（03）3457－8448

本書は、取扱説明書の注意書による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないようたいせつに保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下、輸送等による故障および損傷。
   （ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷等）、塩害、ガス害、異常電圧による故障および損傷。
   （ニ）本書のご提示がない場合。
   （ホ）本書にお買い上げ年月日､お客様名､販売店名の記入のない場合あるいは字句が書き替えられた場合。
   （ヘ）各部の点検または定期保守に要する費用。
   （ト）車両、船舶に備品として搭載した特殊使用の場合に生じる故障および損傷。
   （チ）本製品以外に故障原因がある場合、または改造を要する場合。
2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のため取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らさせていただきます。
4. 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

＊ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとで無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
＊ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

〈個人情報の取扱いについて〉
1. 保証書にご記入いただいたお客様の住所･氏名などの個人情報は保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
2. 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および東芝の個人情報保護プログラムを遵守させますので、ご了承ください。

株式会社 **東芝**
デジタルメディアネットワーク社　映像システム事業部
〒１０５－８００１　東京都港区芝浦１－１－１　電話（０３）３４５７－８４４８
＊住所電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。

23552188